MITSUBISHI

三菱マルチメディアワイド液晶ディスプレイ

VISEO

MDT231WG シリーズ

(AX000)

取扱説明書

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

この製品をご家庭から排出される場合は、当社所定の手続きにより、新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。
事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
  特に「安全のために必ずお守りください」は、液晶ディスプレイをご使用の前に必ず読んで正しくお使いください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「セットアップガイド」と「ユーティリティーディスク(CD)」は、「保証書」と共に大切に保管してください。
- 必ず、転倒・落下防止処置を実施してください。→P6, 55参照
- この取扱説明文書内のURLはクリックするとウェブサイトへリンクします。

「ディスプレイ」のホームページ : www.MitsubishiElectric.co.jp/display

INTERNET INFORMATION & DOWNLOADS SERVICE

製品登録のご案内

三菱電機では、ウェブサイトでのアンケートにお答えいただくとお客様に役立つ各種サービスをウェブサイトにて利用できる「製品登録サービス」を実施しております。
詳しくはこちらをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage

もくじ

ご使用の前に

安全のために必ずお守りください

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

ご使用の前に

何ができるの？

動画、なめらか、クッキリ

MP MODE (Motion Picture MODE) → P31

120 Hz駆動IPS方式液晶パネルとLEDバックライト制御（バックライトスキャンニング／バックライトブリンキング)、オーバードライブを適切に組み合わせることにより、さまざまなゲームを楽しむ場合に、動きの速い映像でも、ぼやけ感をおさえてブレの少ないクッキリとした映像を再現します。コンテンツの動きに応じて、4つのレベル（オフ／レベル1／レベル2／レベル3）からお選びいただけます。

倍速クリアピクチャー → P32

60コマ/秒で映し出される映像の間に、動きを予測した新たな映像を補間し、120コマ/秒の映像を映し出す倍速補間技術により、なめらかで自然な動きを再現します。

超解像（画像変換）技術 → P32, P39

超解像が「ギガクリア・エンジンⅡ」となってさらに進化。超解像設定により、静止画／自然画および動画コンテンツをより解像度感を高めた画像に変換することに加え、圧縮された画像に見えるブロックノイズを低減するブロックノイズリダクション機能、明るい部分と暗い部分が混在する画像でもコントラスト感を改善するエリアコントラスト機能、肌色部分を検出し、検出部分の超解像効果を抑えることで人肌をなめらかに表現する肌色検出機能を装備しています。さらに、入力される映像の解像度を判別し、これらの4つの機能の効果を解像度に応じて適用する解像度判別機能も搭載しています。

24コマコンテンツもなめらか表示

シネマモード → P32

フィルム映像（24コマ）の表示モードをお好みにより選択できます。「フィルム」を選択した場合、フィルム映像の動きを忠実に再現します。「なめらか」を選択した場合、フィルム映像の動きをなめらかに表示します。

コンピューターの画面で作業しながらビデオ画面を視聴したい

2画面表示機能 → P38

親画面の中に子画面を表示する2画面表示機能により、コンピューター画面の中にビデオ画面を表示したり、ビデオ画面の中にコンピューター画面を表示したりすることができます。DVI-D入力とHDMI入力の組み合わせも可能です。(HDMI1入力とHDMI2入力の組み合わせでは2画面表示機能は使用できません。）子画面のみに超解像技術を適用させることも可能です。

ギガクリア・ウインドウ

付属の専用ソフトを使用することで、PC画面上の任意の場所を選択し、その場所のみに超解像技術を適用することが可能です。

コンテンツに合った適切な画質を簡単に設定

DV MODE (Dynamic Visual MODE) → P31

ゲーム、ネット、映画、写真など、表示する内容に合わせた適切な画質を8つのモードからお選びいただけます。リモコン操作で、使わないモードをスキップすることができます。

リモコンによる簡単操作

リモコン付属 → P12, P13

付属のリモコンでスイッチ操作が容易になりました。

多彩な入力端子を装備

< PC接続 > → P11, P15

ミニD-SUB15ピンコネクター(アナログ接続)、DVI-Dコネクター(デジタル接続)、HDMIコネクター(デジタル接続)、および2系統のミニジャック(音声接続)を装備しています。

< AV接続 >

HDMI入力端子 x 2装備 → P11, P18

2台のAV機器を市販のHDMIケーブルで接続することができます。

映像入力端子（D5端子）を装備 → P11, P19

AV機器のD端子出力を市販のD端子ケーブルで接続すると、AVタイミングの映像信号を表示することができます。

コンポジットビデオ／S端子を装備 → P11, P19

AV機器のコンポジットビデオ出力またはS端子出力を、市販のコンポジットビデオケーブルまたはS端子ケーブルで接続することができます。

携帯用ゲーム機を画面フル表示で楽しみたい

ポータブル機能 → P35

アスペクト比設定を「ポータブル」とすることで、携帯用ゲーム機の映像を画面フルで表示することができます。

縦型シューティングゲームにも対応！

リフティングターン機構 → P22

スピーカーの位置はそのままで、画面部を縦型表示に替えることができます。

クリアな高音質サウンド

5 Wサブウーハー

3 W＋3 Wステレオスピーカーに加え、5 Wサブウーハー搭載により、迫力のある低音を提供します。ゲームも映画も美しい映像と共に、さらに臨場感のあるサウンドを楽しめます。

DIATONE® リニアフェイズ技術

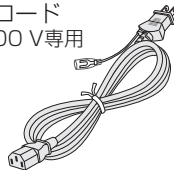
スピーカーから出力される音の周波数ごとの音圧や伝達時間などをリアルタイムに解析し、補正特性を加えるDIATONE® リニアフェイズ技術を採用。高音質なデジタル音声をクリアに再現します。

精緻な階調表現力を生かした、高精度なガンマ補正

10ビットガンマ機能 → P56

きめ細かく、滑らかな階調表現を実現します。

省エネで節約

ECO Professional機能 (ECO PROF.) → P27, P41

ECO設定にて使用時の消費電力を節電できるほか、ECOメーターで現在の省エネ電力値をリアルタイムに表示するなど、省エネに配慮した設定をすることができます。

パワーマネージメント機能 → P45

スリープモードおよびオフモード時の待機電力は、1 W以下です。

付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

- □セットアップガイド
- □ユーティリティーディスク
  (取扱説明書､テストパターン､ギガクリア・ウインドウソフト)
- □電源コード
  AC100 V専用

  本機専用です。安全のため、他の機器には使用しないでください。
- □オーディオケーブル

- □リモコン／単4形乾電池2本

- 信号ケーブル
  - □DVI-D－DVI-D
    (デジタル接続用)
  - □HDMI－HDMI
    (デジタル接続用)

  - □ミニD-SUB15ピン－ミニD-SUB15ピン
    (アナログ接続用)

- □お客様問合せ確認シート
- □リフティングターンの使い方
  (スタンドに引っ掛ける等、常に見える位置に置いてください。)
- □保証書
  (梱包箱に貼り付けてあります。)

本書の見かた

本書の表記のしかた

お 願 い：取扱い上、特に守っていただきたい内容

お知らせ：取扱い上、参考にしていただきたい内容

→ PXX：参考にしていただきたいページ

Win Mac：Windows® と Macintosh 両方に関わる内容

Win：Windows® のみに関わる内容

Mac：Macintosh のみに関わる内容

知りたいことを探すために

やりたいことから探す→「何ができるの？」→ P3

言葉と意味で探す→「用語解説」→ P56

もくじで探す→「もくじ」→ 表紙，P2

さくいんで探す→「さくいん」→ P59

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態で VCCI 基準に適合しています。

本製品は高調波電流規格 JIS C61000-3-2 に適合しています。

本製品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン」に適合しています。

本製品は PC3R「PC グリーンラベル制度」の審査基準（★★☆ 2010 年度版）を満たしています。
詳細は、Web サイト：www.pc3r.jp をご覧ください。

本製品は「J-Moss グリーンマーク・ガイドライン」に基づく J-Moss グリーンマークを表示しています。
「J-Moss（JIS C 0950）」に基づく特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有状況についての情報を公開しています。
詳細は、ウエブサイト www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment をご覧ください。
形名：MDT231WG

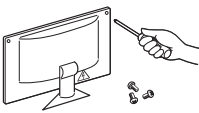
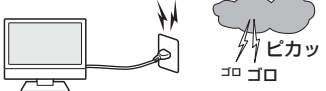
安全のために必ずお守りください

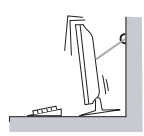
この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

図記号の意味は次のとおりです。

記号	意味	記号	意味
	絶対におこなわない		必ず指示に従っておこなう
	絶対に分解・修理・改造はしない		必ずアースリード線を接続する
	必ず電源プラグをコンセントから抜く		高圧注意（本体後面に表示）
	絶対に水にぬらさない		絶対に触れない
	絶対に濡れた手で触れない		挟みこみに注意する

● ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

プラグを抜く

故障（画面が映らないなど）や煙、変な音・においがするときは使わない

使用禁止

火災・感電の原因になります。

裏ぶたをはずさない

高圧注意　分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。

修理・改造をしない

けが・火災・感電の原因になります。

修理・改造禁止

異物をいれない
特にお子さまにご注意

禁止

通風口などから金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災・感電の原因になります。

万一入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

風呂場や水のかかるところに置かない

水ぬれ禁止

水などが液晶ディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因になります。

キャビネットを破損したときは使わない

使用禁止

火災・感電の原因になります。

アースリード線を接続する

アースリード線を接続する

アースリード線を接続しないと故障のときに感電の原因になります。
アース接続は必ず電源プラグをコンセントに接続する前におこなってください。
また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。

アースリード線を挿入・接触しない

禁止

電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因になります。

雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない

感電の原因になります。

接触禁止

⚠警告

取り扱いについて

ポリ袋で遊ばない　特にお子さまにご注意

本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になります。

禁止

傾斜面や不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。

禁止

本機にのったり、ぶら下がったりしない
特にお子さまにご注意

落下してけがの原因になります。

禁止

転倒・落下防止対策をおこなう

転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対しての効果を保証するものではありません。

設置台を補強する

転倒・落下を防止する

丈夫な紐などで製品を壁とつなぐ

液晶を口にしない

液晶パネルが破損し、液晶が漏れ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりすると、中毒を起こす原因になります。
万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。
手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどで拭き取り、水洗いしてください。

警告

電源および電源コードについて

電源コードを傷つけない

傷つけ禁止

重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないこと。コードが破損して火災・感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止

正しい電源電圧で使用する

指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因になります。

正しい電源電圧で使用

一般のご家庭のコンセント(AC100 V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。
AC100 V以外(最大AC240 V)でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用できません。

電源プラグを奥までさしこむ

しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。

しっかり差し込む

電源プラグを持って抜く

コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因になります。

プラグを持つ

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

火災の原因になります。
１年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。

ほこりを取る

お手入れの際は電源プラグを抜く

感電の原因になります。
During servicing, disconnect the plug from the socket-outlet.

プラグを抜く

長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く

火災の原因となることがあります。

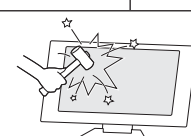
プラグを抜く

接続線をつけたまま移動しない

火災・感電の原因になります。
電源プラグや機器間の接続線をはずしたことを確認の上、移動してください。

禁止

⚠警告

万一、電池の電解液が身体に付着したときは、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流す!!

手や体に付着した電池の電解液を放置すると、身体に障害が残る危険があります。
水道水などのきれいな水で十分に洗い流し、異常を感じたら医師の診断を受けてください。

電池は分解・加工・改造をしない

電池には電解液が入っています。
電解液が飛び出して手や体に付着すると危険です。
万一、付着した場合は、すぐに水道水などのきれいな水で洗い落としてください。その後、医師の診断を受けてください。

電池を入れるときは、プラスとマイナスの向きを正しく入れる

逆に入れると電池の漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。

正しい電池を使用する

本機のリモコンに下記以外の電池を使用すると、漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。
● 使用電池：アルカリ乾電池またはマンガン乾電池単4形

電池を充電しない

電池を充電すると、漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。

電池を加熱したり火の中に入れない

漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。

禁止

電池を直接半田付けしない

半田付けすると電池が高温になり、漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。

電池をショートさせない

電池の(+)と(−)を針金などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に保管しないでください。電池をショートさせると、過大電流が流れたりして漏液・発熱・破裂により、けがの原因となります。

保管時
金属や他の電池と接触してショートしないように、必ず端子部を絶縁テープなどで絶縁してください。

廃棄時
必ず電極部に絶縁テープを貼ってから廃棄してください。
廃棄するときは、自治体によって処理の仕方が異なりますので、その指示に従ってください。

電池を高温・高湿の場所で使用や保管しない

直射日光が当たる場所や車内など高温になる場所、湿度が高い場所での電池の使用や保管は、漏液･発熱･発火･破裂による火災やけがの原因となります。

⚠注意

設置のときは次のことをお守りください。

風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

狭い所に置かない

あお向けや横倒し、さかさまにしない

直射日光や熱器具のそばに置かない

布などで通風孔をふさがない

屋外での使用禁止

本機は屋内での使用を想定しています。屋外で使用すると故障の原因となることがあります。

液晶パネル面を強く押さない

傷がついたり、破損してけがの原因になります。
持ち上げる際または運搬の際に、液晶パネル面に指をかけて強く押さないでください。

車載用禁止

車載用など移動用途には使用できません。故障の原因になることがあります。

スタンドに手を挟まない

角度調節時、取り付け、取り外し時に手を挟むとけがの原因になります。

液晶パネルに衝撃を加えない

破損してけがや故障の原因になります。

湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない

使用上のお願い

ディスプレイの上手な使い方

日本国内専用です

For use in Japan only

国内専用

この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。
日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
また、この製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

上手な見方

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～70cmはなれたぐらいが見やすくて目の疲れが少なくなります。明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

長時間同じ画面を表示しない

長時間同じ画面を表示しない

長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残ること（残像）がありますが故障ではありません。画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。
「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えたり、使用していないときは省電力モードにするか、電源をオフすることをおすすめします。

1年に一度は内部掃除を

内部掃除

内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。

内部掃除は販売店にご依頼ください。

液晶ディスプレイを廃棄する場合

本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。
（→P51 本機を廃棄するには）

お手入れの際は電源プラグを抜いてください。

プラグを抜く

液晶パネルのお手入れ

パネル表面は傷つきやすいので、固いもので押したりこすったりしないように、取り扱いには十分注意してください。
パネル表面は触指などにより汚れることのないようにご注意ください。
パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふきとってください。また、きれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。
溶剤を使用される場合は以下のものを推奨いたします。
その際は溶剤が残らないようにしてください。（水、エタノール、イソプロピルアルコール）推奨以外の溶剤（酸、アルカリ、アセトン等）は使用しないでください。溶剤類や水滴等が液晶ディスプレイ内部に入ったり表示面以外の液晶ディスプレイ表面に付着すると製品を破壊する恐れがありますのでご注意ください。

キャビネットのお手入れ（光沢キャビネット以外）

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

光沢キャビネットのお手入れ

キャビネット光沢表面は少しの傷でも目立ちやすくなっています。
お手入れは眼鏡レンズ拭きなどの柔らかい布のようなもの以外はご使用にならないでください。
専用のクリーニングクロスが同梱されている場合は、同梱のクロスをご使用ください。

キャビネット光沢表面の変色を防ぐため、中性洗剤のご使用もご遠慮ください。

使用禁止

<専用クリーニングクロスの取扱い上の注意>
ホコリなどの汚れは、先に同梱のクロスの特殊起毛加工面（文字のある面）で軽くふき取った後、指紋や頑固な油膜をクロスの平織面（文字のない面）で軽くふき取ってください。
同梱のクロスでも、強くふいたりこすったりすると傷が付くことがありますので、取り扱いには十分ご注意ください。
同梱のクロスに付いているホコリなどでの傷付きを防ぐため、ご使用後は必ず洗ってください。（柔軟剤や漂白剤などのご使用はご遠慮ください。）

キャビネットを傷めないために

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。
ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。
（化学ぞうきんご使用の際は、その注意書きに従ってください。）
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
キャビネットが変色したり、変質するなどの原因となります。

使用禁止

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

電波妨害について

本機は規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「ラジオ」などの機器に本機を近づけると互いに妨害を受けることがあります。その場合は、機器を影響のないところまで本機から離してください。

搬送について

- 引っ越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱と緩衝材および包装用のシートや袋をご用意ください。
- 本機は立てた状態で運搬してください。横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、点欠陥が増加する場合があります。

保管について

- 長期保管される場合は、電気的な性能を維持するために、定期的（6ヶ月に1回程度）に通電してください。
- 輸送・保管時には、水／ゴミ／ホコリや衝撃の保護のために、ご購入時の包装材（箱／袋／緩衝材）を使用されることをおすすめします。

液晶パネルについて

- 液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合があります。
  これは故障ではありません。
  本製品の有効ドット数の割合は 99.9995%以上です。

  お知らせ

  有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、当社で保証する表示可能なドットの割合」を示しています。「画素」および「ドット」という言葉は ISO13406-2 に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル（pixel）」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル（subpixel）」となります。つまり、「画素」は実態のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。
- 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布で拭き取ってください。
  素手で触らないでください。
- 液晶パネルに水滴などがかかった場合は、すぐに拭き取ってください。
  そのまま放置すると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 液晶パネルを傷つけないでください。
  硬いもので液晶パネルの表面を押したり、ひっかいたりしないでください。

■ お客様または第三者が本機を使用中または誤使用により生じた故障やその他の不具合または本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

各部のはたらき

本体正面

MP MODE ボタン

OSD 画面が表示されていないとき（ホットキー機能）

►オフ → レベル 1 → レベル 2 → レベル 3

の順でモードを切替えます。

お知らせ

DV MODE が「フォト」、「sRGB」のときは切替えできません。

OSD 画面が表示されているとき

ボタンは動作しません。

◁ボタン

OSD 画面が表示されていないとき（ホットキー機能）

「ブライトネス」の調節が選択できる状態になります。

OSD 画面が表示されているとき

左方向への主項目メニューの選択および設定項目の選択／調節をおこないます。

CP MODE ボタン

OSD 画面が表示されていないとき（ホットキー機能）

倍速クリアピクチャーを切替えます。

►オフ → 弱 → 強

お知らせ

DV MODE が「フォト」、「sRGB」のときは切替えできません。

OSD 画面が表示されているとき

ボタンは動作しません。

MENU ／▽ボタン

OSD 画面が表示されていないとき

OSD 画面を表示します。

OSD 画面が表示されているとき

縦方向の副項目メニューを選択します。

▷ボタン

OSD 画面が表示されていないとき（ホットキー機能）

「音量」の調節が選択できる状態になります。

OSD 画面が表示されているとき

右方向への主項目メニューの選択および設定項目の選択／調節をおこないます。

電源スイッチ（⏻）

電源をオン／オフします。

お願い

電源を短時間のうちに頻繁にオン／オフしないでください。
故障の原因になることがあります。

お知らせ

付属のリモコンでもオン／オフできます。

INPUT ／ EXIT ボタン

OSD 画面が表示されていないとき

►DVI-D → D-SUB → HDMI1 → HDMI2 → D 端子 → ビデオ

の順で入力切替えをおこないます。

OSD 画面が表示されているとき

選択している OSD 項目メニューから抜け出るときに押します。
主項目メニューが選択されている状態の場合は、OSD 画面が消えます。

お知らせ

● 各ボタンによる詳しい OSD の操作については「OSD の基本操作」→ P29 をごらんください。

本体背面／側面

＜AV 機器接続＞

S 映像入力端子（S 端子）
S 映像出力端子のある AV 機器からの S 映像ケーブル（市販）を接続します。

ビデオ映像入力端子（RCA）
AV 機器からの映像ケーブル（市販）を接続します。

ビデオ音声入力端子（RCA）
AV 機器からのオーディオケーブル（市販）を接続します。

映像入力端子（D 端子）
コンポーネント出力端子（D 端子）のある AV 機器からの映像ケーブル（市販）を接続します。

D 端子音声入力端子（RCA）
コンポーネント出力端子（D 端子）のある AV 機器からのオーディオケーブル（市販）を接続します。

HDMI 入力端子（HDMI1、2）
HDMI 出力端子のある AV 機器からの HDMI ケーブルを接続します。
（下が HDMI1、上が HDMI2）

VESA 規格準拠穴
（以下、VESA 穴と記載）
市販のアームスタンドを取り付けられます。（M4-100mm ピッチ）→ P54

AV 機器と接続する際は、コネクターカバーのツメを押しながら、コネクターカバーを取り外してください。

＜AV 機器接続＞

ヘッドホン端子
ヘッドホンを接続して使用できます。

コネクターカバーのツメ

高さ調節用ロックボタン
一番低い位置のときにロックされています。高さ調節の際はロックボタンを押し、ロックを外してください。

盗難防止用ロック穴
盗難防止用のキー（Kensington 社製）を取り付けられます。

電源入力コネクター
電源コードを接続します。

ケーブルホルダー
接続後のケーブルをすっきりまとめます。

光デジタル音声出力端子
光デジタル音声信号を出力します。オーディオアンプ等を接続します。HDMI1、HDMI2 の音声のみ、本端子から出力可能です。そのほかの音声を外部に出力する場合は、音声出力端子（ミニジャック）をご使用ください。

音声入力端子（ミニジャック）
付属のオーディオケーブルで PC と接続します。D-SUB 入力用の音声入力端子です。

音声入力端子（ミニジャック）
付属のオーディオケーブルで PC と接続します。DVI-D 入力用の音声入力端子です。

音声出力端子（ミニジャック）
本体で選択された入力と同じ音声信号を出力します。オーディオアンプ等を接続します。PC 音声、HDMI 音声、ビデオ音声を出力可能です。

＜PC 接続＞

アナログ信号入力端子（D-SUB）
付属のミニ D-SUB15 ピンケーブルで PC と接続します。

デジタル信号入力端子（DVI-D）
付属の DVI-D ケーブルで PC と接続します。

リモコン

画面サイズボタン
画面サイズを切替えます。
（4 モード） → P34
フル、アスペクト、2x ズーム、リアル

スルーモードボタン
スルーモード機能をオン／オフします。→ P35

MENU ／ EXIT ボタン
OSD 画面を表示または消します。
OSD 機能の操作の最中には 1 つ前の画面に戻ります。

DV MODE ボタン
DV MODE を DV MODE スキップ設定に応じて切替えます。
→ P31
現在の状態が画面右上に表示されます。

ブライトネスボタン
画面の明るさを調節します。
∧：明るくなります。
∨：暗くなります。

子画面　ON/OFF ボタン
子画面（PIP 画面）の表示をオン／オフします。
スルーモード機能をオンにしているときは、子画面を表示できません。

子画面　映像入力ボタン
（子画面表示時のみ有効です）
子画面に表示する映像を切替えます。

子画面　親子切替ボタン
（子画面表示時のみ有効です）
現在表示中の親画面と子画面を入替えます。

子画面　サイズボタン
子画面のサイズを切替えます。
（3 モード）
小、中、大

子画面　位置ボタン
子画面の表示位置を切替えます。
右上、右下、左下、左上

子画面　超解像ボタン
（子画面表示時のみ有効です）
子画面の超解像効果をオン／オフします。（子画面の超解像効果のレベル調節は、OSD 画面でおこないます。→ P39 ）
親画面の超解像効果が設定されている場合、子画面のレベル設定値にかかわらず、親画面の超解像効果が適用されます。（子画面の超解像効果がオンの場合）

電源ボタン
電源をオン／オフします。

映像入力ボタン
(DVI-D) (D-SUB) (HDMI1) (HDMI2) (D 端子) (ビデオ端子)
それぞれの映像入力をダイレクトに切替えます。

アスペクトボタン
SD タイミングの入力映像に対して、画面のアスペクト比を設定します。
自動、16：9、4：3、ポータブル
PC 入力時は使用できません。

オーバースキャンボタン
オーバースキャン率を設定します。
（4 モード） → P35
100% (FULL)、98%、95%、93%
PC 入力時は切替えできません。

自動調節ボタン
（PC アナログ接続時のみ有効です）
左右、上下方向の表示位置、水平サイズや位相を自動調節します。

倍速クリアピクチャーボタン (倍速 CP)
倍速クリアピクチャーを切替えます。
→ P32
オフ、弱、強
DV MODE が「フォト」、「sRGB」のときは切替えできません。

コントロールボタン（▲▼◀▶）
OSD 画面の操作をします。

SELECT ボタン
OSD 画面が表示されている場合
選んだ項目を実行します。

MP MODE ボタン
MP MODE を切替えます。
（4 モード） → P31
オフ、レベル 1、レベル 2、レベル 3
DV MODE が「フォト」、「sRGB」のときは切替えできません。

超解像ボタン
親画面の超解像設定を切替えます。
（10 段階） → P32
0（オフ）～ 100
▲：超解像効果が大きくなります。
▼：超解像効果が小さくなります。

音量ボタン
音量を調節します。
＋：音が大きくなります。
－：音が小さくなります。

音声　音声入力ボタン
現在表示中の映像ソースに関係なく、音声入力のみを切替えることができます。

音声　MUTE（消音）ボタン
音を消します。
もう一度押すか、音量ボタンを押すと、音声が出るようになります。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

リモコンの取り扱い

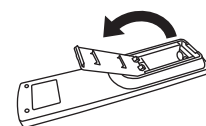
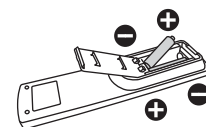
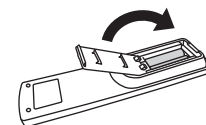
基本的な使い方

リモコンはディスプレイ本体のリモコン受光部へ向けて操作してください。

⚠注意

● リモコン使用上の注意
・ 本機専用のリモコンです。他のディスプレイやテレビなどの操作はできません。
・ リモコンの動作範囲は真正面からの直線距離で約 3m ですが、操作する角度によっては反応が遅かったり、動作しないこともあります。この場合は、画面に近づくか、より真正面に近い角度で操作してください。
・ リモコンを落としたり衝撃を与えないでください。
　また、水にぬらしたり、温度の高いところに置かないでください。故障の原因となります。
・ リモコンを直射日光の当たる場所に放置しないでください。熱により変形することがあります。
・ リモコンを操作しても本機が動作しなくなったら電池の交換時期です。新しい電池と交換してください。
・ 本体のリモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。

電池の入れ方

1 ふたのフックを矢印のように押しながら引き上げる

2 ケース内部の表示通りに⊕ ⊖を合わせて入れる

3 ふたを元に戻す

⚠注意

● 乾電池は誤った使いかたをすると液もれや破れつすることがありますので、次の点について特にご注意ください。
・ 付属の乾電池は充電用ではありませんので充電しないでください。
・ 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
・ 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
・ 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
　新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれる恐れがあります。
・ 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となる恐れがありますので、すぐ取り出してください。
　また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
　もし、もれた液が肌についた場合は、水で十分に洗い流してください。

お知らせ

● 付属の乾電池は保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
● 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して保管しておいてください。

使用の準備

使用するための流れ

これでコンピューターとディスプレイの準備は終わりです。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

[準備 1] ディスプレイとコンピューターを接続する

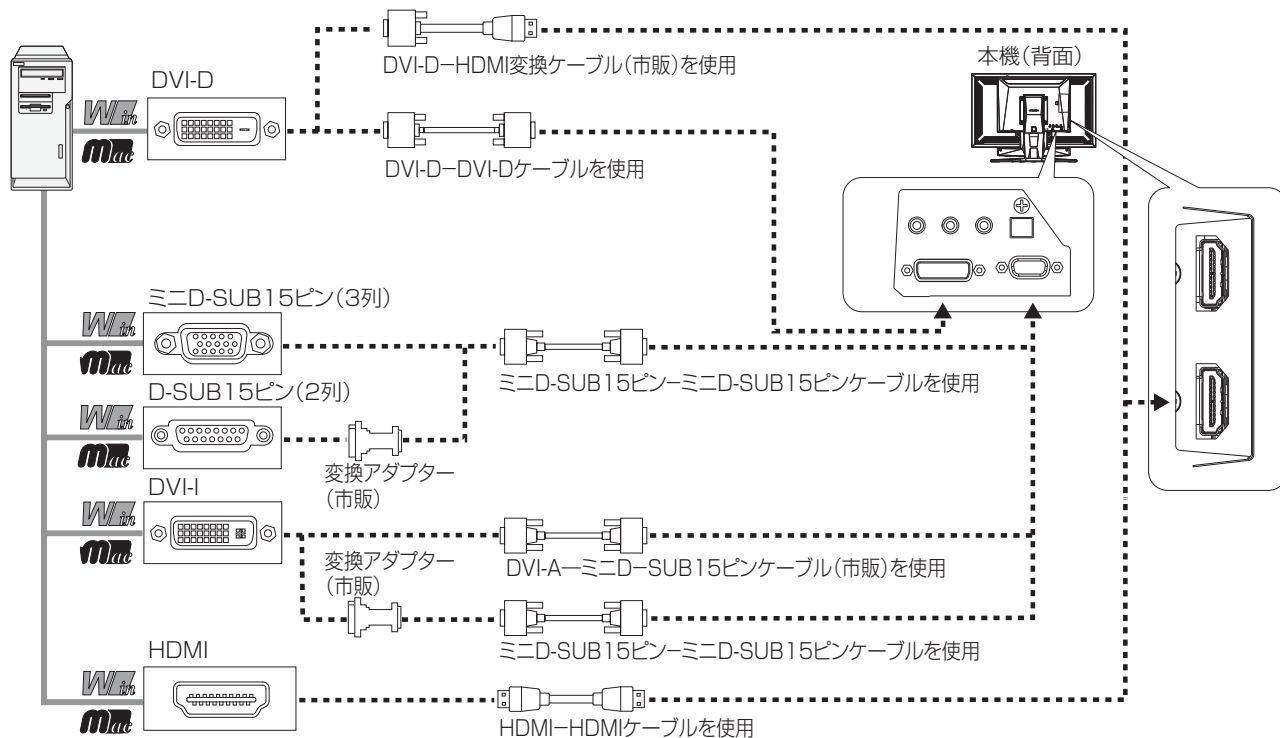
本機にコンピューターを信号ケーブルで接続してください。

お 願 い

- 信号ケーブルを接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。
- デジタル接続とアナログ接続を同時におこなう場合は、まず、デジタルの信号ケーブルを先に接続してください。

お知らせ

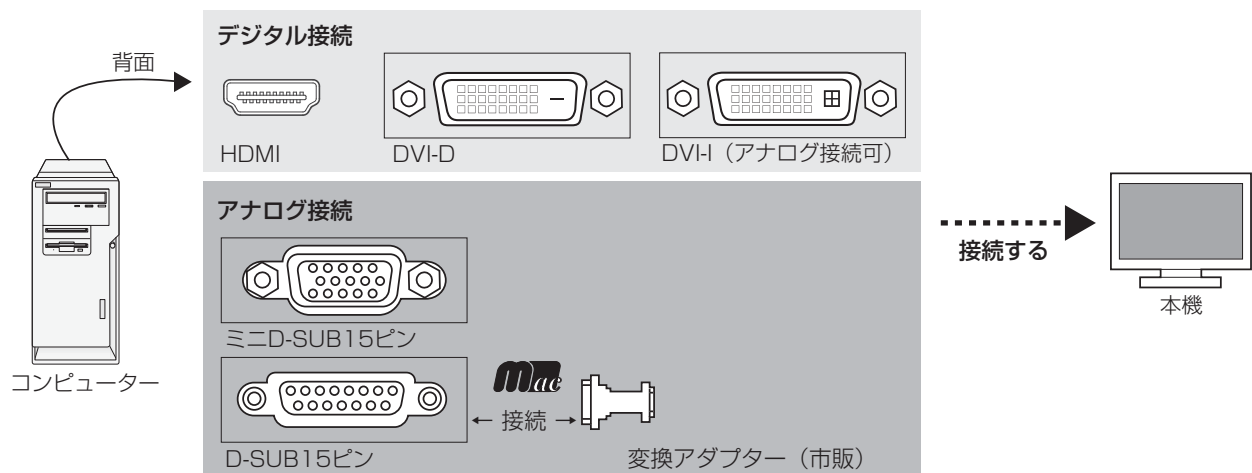
- 画面を下方に傾けた方がケーブル類の接続が簡単におこなえます。
  信号ケーブルおよび変換アダプターは、接続後必ずそれぞれの固定ネジで確実に固定してください。

1 台のコンピューターを接続（デジタル接続／アナログ接続）

2 台のコンピューターを接続（デジタル 1 系統／アナログ 1 系統同時接続）

3 台～ 4 台のコンピューターを接続（デジタル 2 ～ 3 系統／アナログ 1 系統同時接続）

前ページの接続図において、2 台～ 3 台のコンピューターを同時にデジタル接続することも可能です。その場合、それぞれのコンピューターからのデジタル接続の信号ケーブルを本機の HDMI 端子と DVI-D 端子にそれぞれ接続してください。
さらにもう 1 台のコンピューターをアナログ接続することにより 3 台～ 4 台のコンピューターを同時に接続することが可能です。

接続方法について

本機の信号入力コネクターは、アナログ信号（ミニ D-SUB15 ピン）とデジタル信号（DVI-D、HDMI）に対応しています。
また、複数のコンピューターを同時に本機に接続し、表示する入力を切替えて使うことができます。
ご使用のコンピューターの出力端子の形状をお確かめになり、本機の信号コネクターに接続してください。
それぞれの接続に対応したケーブルをご使用ください。

接続コネクターと信号ケーブル対応表

ディスプレイ側 ／ コンピューター側	ミニD-SUB15ピン（アナログ）	DVI-D（デジタル）	HDMI（デジタル）
DVI-I（アナログ接続／デジタル接続）	DVI-A─ミニD-SUB15ピンケーブル（市販）で接続（アナログ接続）または、ミニD-SUB15ピン─ミニD-SUB15ピンケーブルで接続（市販の変換アダプターが必要）	DVI-D─DVI-Dケーブルで接続	DVI-D─HDMI変換ケーブル（市販）で接続
DVI-D（デジタル接続）	接続できません	DVI-D─DVI-Dケーブルで接続	DVI-D─HDMI変換ケーブル（市販）で接続
HDMI（デジタル接続）	接続できません	DVI-D─HDMI変換ケーブル（市販）で接続	HDMI─HDMIケーブルで接続
ミニD-SUB15ピン（アナログ接続）（3列）	ミニD-SUB15ピン─ミニD-SUB15ピンケーブルで接続	接続できません	接続できません
D-SUB15ピン（アナログ接続）（2列） Mac	ミニD-SUB15ピン─ミニD-SUB15ピンケーブルで接続（市販の変換アダプターが必要）	接続できません	接続できません

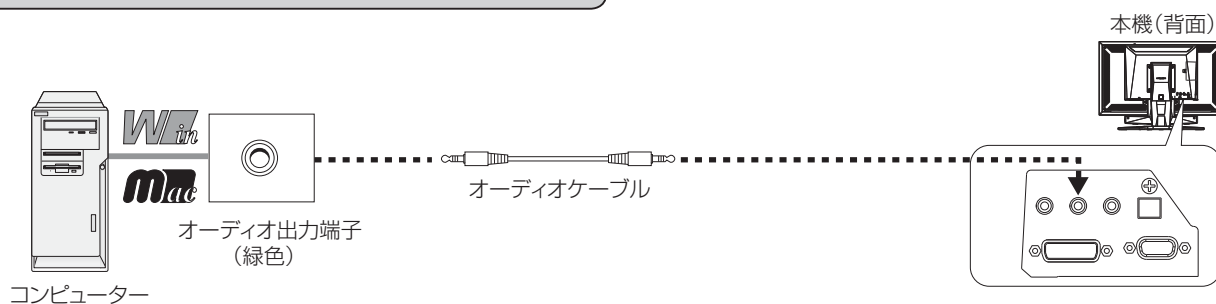
DVI-I ：デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子。接続するケーブルあるいは変換アダプターによって入力の使い分けが可能
DVI-D ：デジタル入力のみに対応しているDVI端子
DVI-A ：アナログ入力のみに対応しているDVI端子

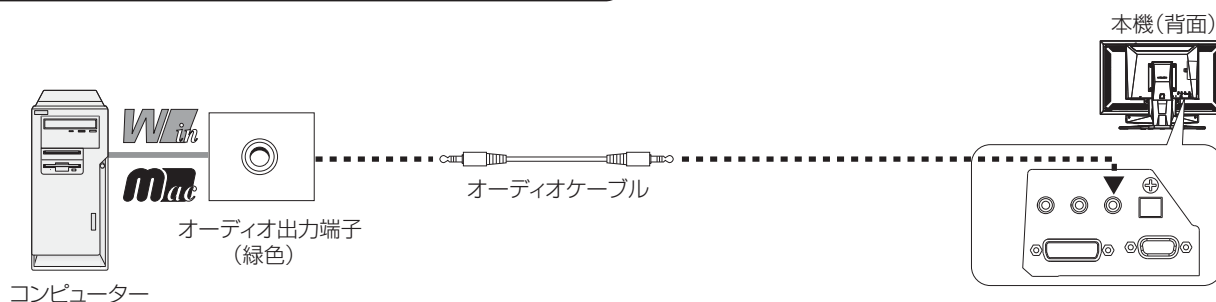
※ Apple Macintoshシリーズコンピューターは、モデルによりアナログRGB出力コネクターが異なります。
※ 本液晶ディスプレイにDVI-Aでは接続できません。
※ HDMIケーブルは、HIGH SPEED HDMI® CABLEの表示があるものをご使用ください。
1080p映像信号を入力する場合は、一般のHDMIケーブルでは正常に動作しない場合があります。

コンピューターのオーディオ出力端子と接続

お知らせ

- コンピューター側の接続方法については、コンピューターの取扱説明書もあわせてご参照ください。
- オーディオケーブルは付属品またはステレオミニプラグ付きの抵抗無しのものをご使用ください。
  抵抗有りのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音声が出ない場合があります。

デジタル信号入力端子（DVI-D）に接続するとき

アナログ信号入力端子（D-SUB）に接続するとき

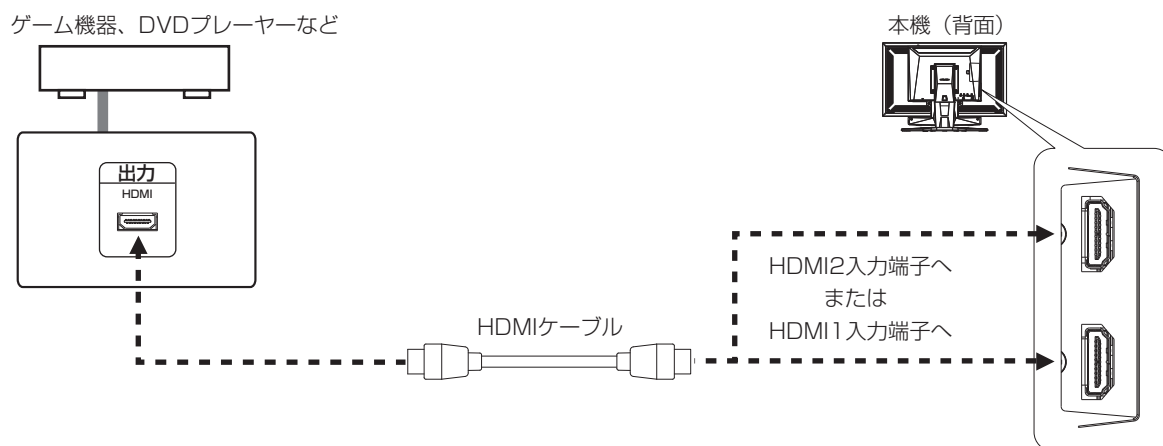
[準備 2] ディスプレイと AV 機器を接続する [必要に応じて]

HDD/DVD や各種ゲーム機器などの AV 機器と市販のケーブルで接続してください。

本機は、AV 機器などと接続して使用することができます。
機器側の接続方法については、ご使用になる AV 機器などの取扱説明書もあわせてご参照ください。

お知らせ

- HDMI − HDMI ケーブル接続で 2 台の AV 機器との接続ができます。
  すべての HDMI 機器への接続を保証するものではありません。
- 一部の AV 機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。
  数秒（5 ～ 30 秒）お待ちください。数秒待っても画面が表示されない場合は、下記の操作をおこなってください。
  - ・本機の電源スイッチを切り、電源を入れ直してください。
  - ・PC 入力自動切替機能をオフにすると、表示されやすくなる場合があります。
  - ・電源コードを含むすべてのケーブルを抜き、接続し直してください。
  - ・AV 機器側の電源を切り、電源を入れ直してください。
- D 端子入力で AV 機器と接続される場合、音声信号は AV 機器のオーディオ出力端子と本機の D 端子音声入力端子を接続してください。
- S 映像入力端子またはビデオ映像入力端子で AV 機器と接続される場合、音声信号は AV 機器のオーディオ出力端子と本機のビデオ音声入力端子を接続してください。
- HDMIケーブルは、HIGH SPEED HDMI® CABLEの表示があるものをご使用ください。1080p映像信号を入力する場合は、一般の HDMI ケーブルでは正常に動作しない場合があります。

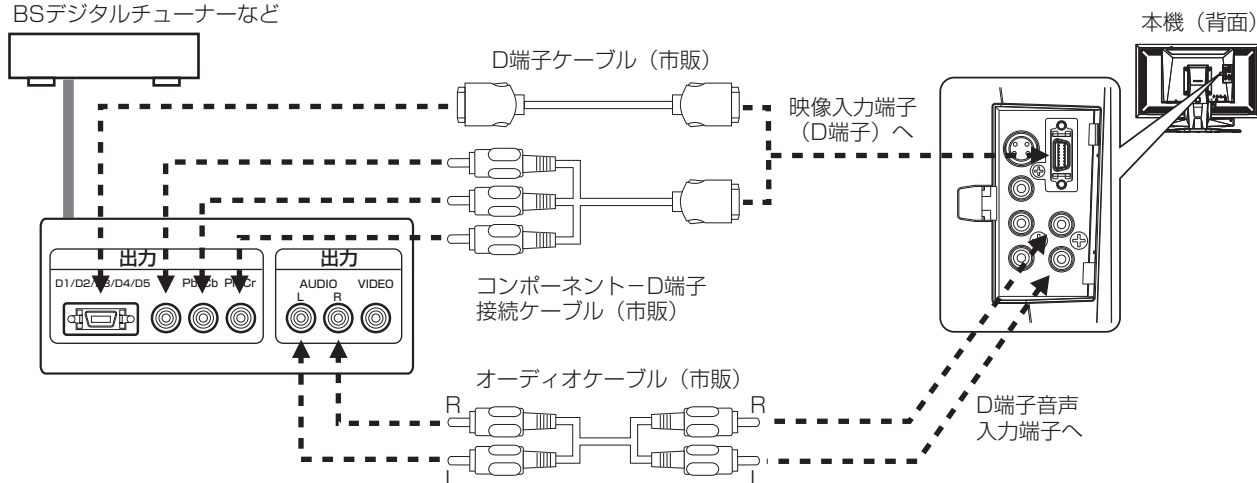
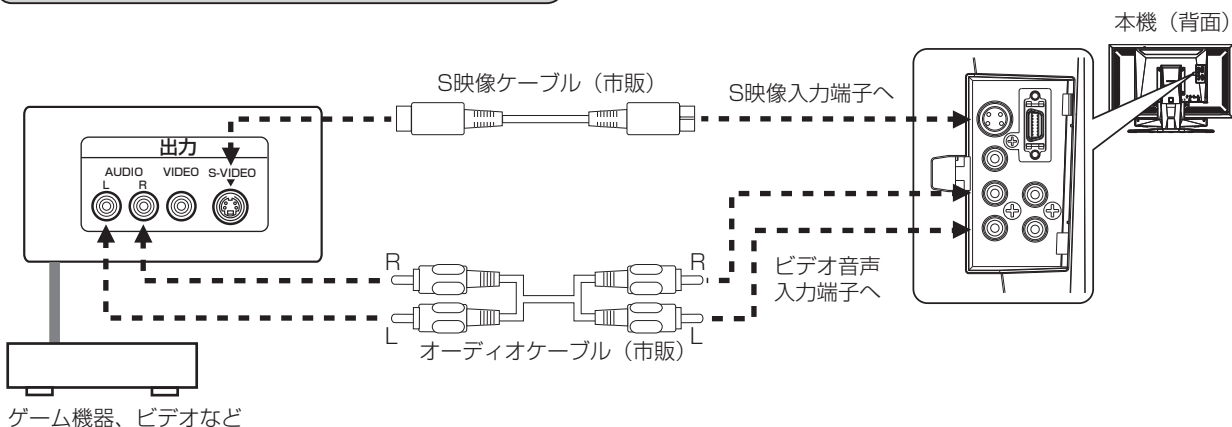
HDMI 出力に対応した AV 機器に接続するとき

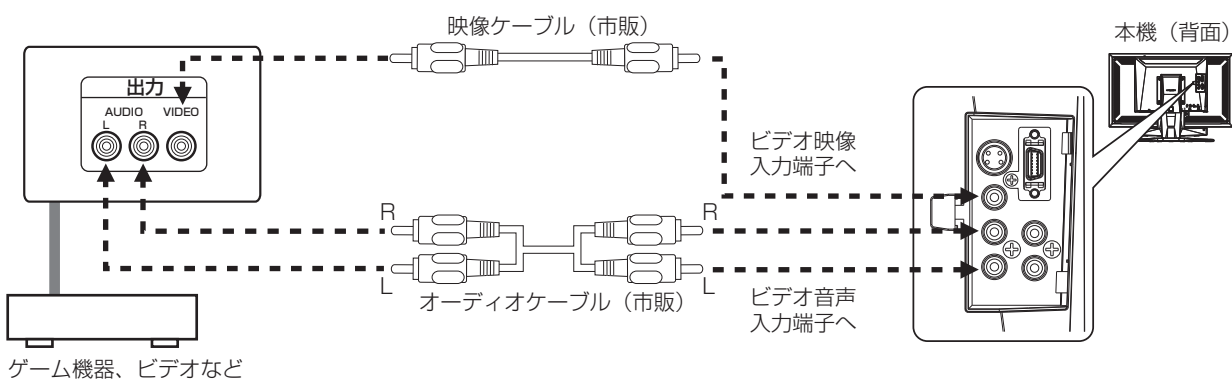
もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

お 願 い

- ケーブルを接続する際は、コネクターカバーを取り外してください。

お知らせ

- S 映像入力端子とビデオ映像入力端子に同時に接続した場合は、S 映像入力端子が優先されます。ただし、ビデオ映像入力端子に接続した映像を表示している状態では、ビデオ映像入力端子が優先されます。
- ゲーム機やビデオムービーなど一部の機器では、音声が専用コネクターまたはステレオジャック出力の場合もあります。専用ケーブルが必要な場合は、接続機器の取扱説明書をご参照のうえ、専用ケーブルを購入してください。

コンポーネント映像出力（D 端子出力）に対応した AV 機器に接続するとき

S 映像出力のある AV 機器に接続するとき

S 映像出力・コンポーネント映像出力のない AV 機器（コンポジット映像出力）に接続するとき

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

[準備 3] ヘッドホンを接続する [必要に応じて]

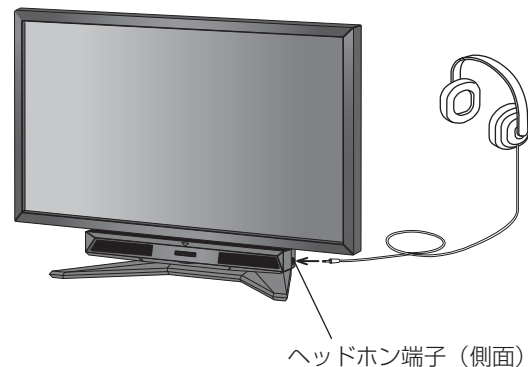
本機のヘッドホン端子にヘッドホンを接続してご使用できます。

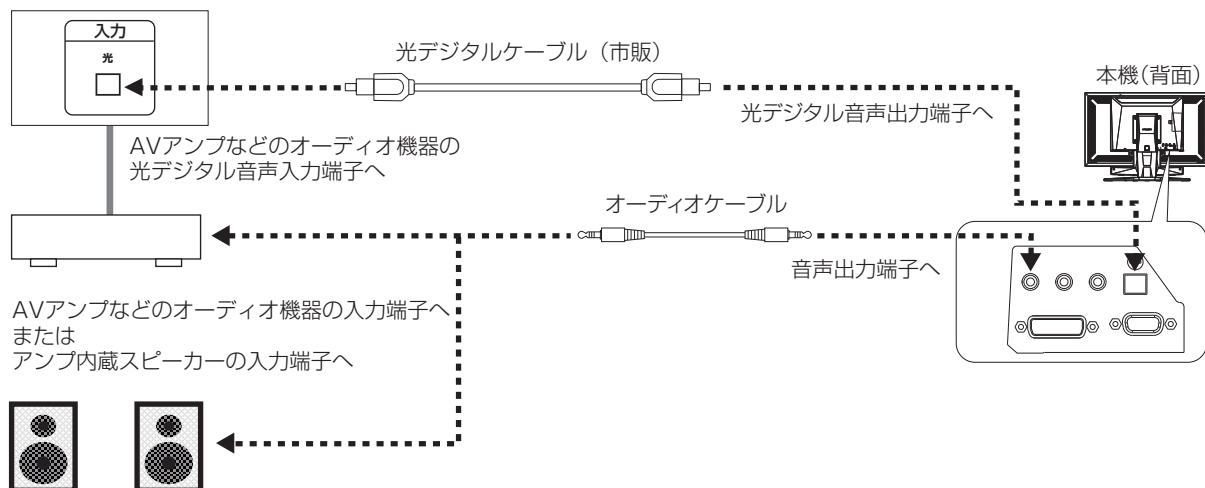
⚠注意

- **ヘッドホンを耳にあてたまま接続しないでください。**
  音量によっては耳を傷める原因となります。
- **ヘッドホンをご使用の際は、音量を上げすぎないようにご注意ください。**
  大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ヘッドホン端子（側面）

お知らせ

- 本機に接続できるのは、ステレオミニプラグ付きのヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグ（市販）をご使用ください。
- ヘッドホンを接続すると、スピーカーからの音声は消えます。
- ヘッドホンを接続しても、本機の音声出力端子からの音声は出力されます。
- 画面表示開始時（電源オン時、パワーマネージメントからの復帰時など）にノイズが発生することがあります。

[準備 4] ディスプレイの音声出力端子を AV 機器またはアンプ内蔵スピーカーと接続する [必要に応じて]

AV アンプやアンプ付きスピーカーのオーディオ入力端子と接続するとき

お知らせ

- 音声出力端子に接続すると、本機のスピーカーからの音声は消えます。
- 音声出力端子に接続しても、本機のヘッドホン端子からの音声は出力されます。
- 画面表示開始時（電源オン時、パワーマネージメントからの復帰時など）にノイズが発生することがあります。
- 機器側の接続方法については、ご使用になる機器の取扱説明書もあわせてご参照ください。
- オーディオケーブルは付属品またはステレオミニプラグ付きの抵抗無しのものをご使用ください。
  抵抗有りのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音声が出ない場合があります。
- AV アンプなどのオーディオ機器では、音声入力コネクターがステレオジャック入力の場合があります。接続機器の取扱説明書をご参照のうえ、必要な場合は、ミニジャックからステレオジャックに変換するケーブルか、変換コネクターを購入してください。

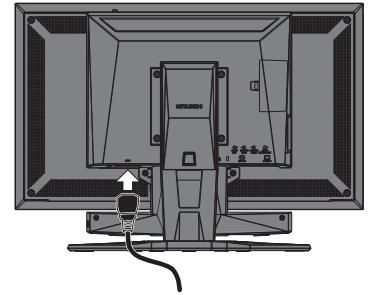
もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

[準備 5] 電源コードを本機に接続する

電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクターに差し込む

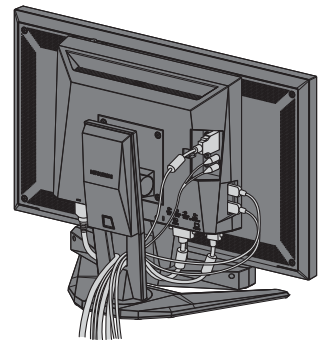
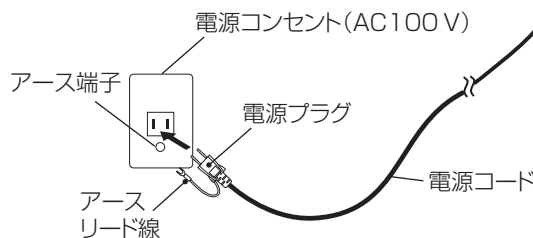
奥までしっかりと差し込んでください。

お 願 い

- コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。（1.5 A 以上必要です。）
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに差し込んでください。

[準備 6] ケーブルをまとめる [必要に応じて]

本機背面に接続した電源コード、信号ケーブル、オーディオケーブルを、スタンドのケーブルホルダーを使ってまとめる

お 願 い

- 画面を下方に傾けた状態でケーブル類はケーブルホルダーでまとめてください。
  設置後、画面を上向きに傾けたときに必要なケーブルの長さが確保されます。
- 本機の角度を調節し、ケーブル類に十分な余裕があるかどうかを確認してください。

[準備 7] 電源プラグのアースリード線を接続する
[準備 8] 電源プラグを AC100 V 電源コンセントに接続する

お 願 い

- 電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。
  This socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

⚠警告

- **表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。**
- **本機には一般のご家庭のコンセント（AC100 V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100 V 以外（最大 AC240 V）でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。**
- **電源プラグのアースリード線は必ず電源コンセントのアース端子などへ接続してください。なお、アースリード線の接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてからおこなってください。また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。**
- **本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため、他の機器には使用しないでください。**

[準備 9] 設置する

ディスプレイ画面が見やすく、傾いていない平らで安定している場所に設置します。

⚠注意

- **本機を持って移動する場合は、画面部（またはスピーカー部）とスタンドを同時に持ってください。画面部だけを持って移動すると、リフティングターン機構の破損の原因になることがあります。なお、長い距離の移動の場合は、リフティングターン機構に無理な力がかからないように、台車等をお使いください。**

[準備 10] 縦型表示にする／横型表示にする [必要に応じて]

リフティングターン（縦型表示にする）

1 本機の画面の高さを一番低い位置に調節する

2 ロックボタンを解除する

ロックボタンを⇦方向（前から見て左方向）に押し込んだ状態で、画面部を時計方向に少し動かしてロックを解除してください。
画面部が少し傾いた状態で、ロックは解除されます。

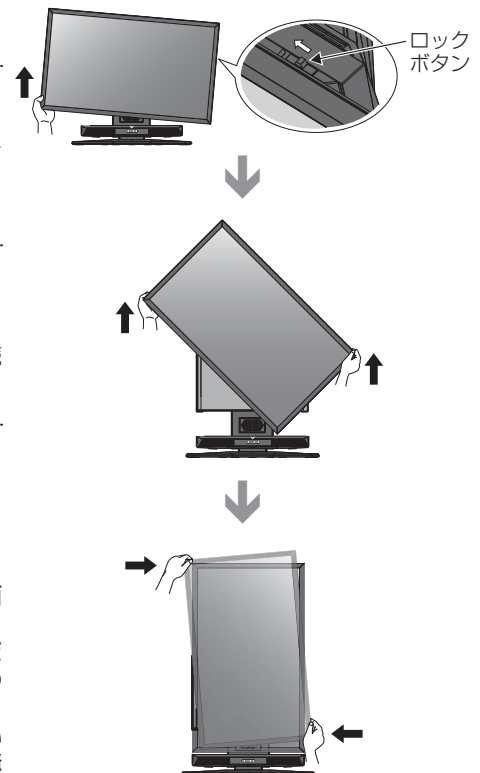
3 画面部を時計方向に動かす

安全上、約 45°の位置でいったん停止する機構です。
停止した位置で画面部を更に↑方向に持ち上げながら動かすと、操作は継続できます。

4 画面部をロックする

ロックボタンが「カチッ」と音がするまで動かしてください。

⚠注意

- 本機の画面部を横型→縦型に動かす場合は、ロックがかかる直前に右手を画面部とスピーカー部の間に挟まないようにしてください。けがの原因になります。
- 本機の画面部を横型→縦型に動かす場合は、絶対に途中で手を離さないでください。画面部が自然に動き、画面部とスピーカー部の間に手を挟んで、けがの原因になります。
- 本機の画面部を横型→縦型に動かす場合は、必ず本機の画面の高さを一番低い位置に調節してください。その他の画面の高さでは、画面部を動かせない機構になっています。無理に動かすと、リフティングターン機構および高さ調節機構の破損や故障の原因になります。（一番低い位置以外の画面の高さでは、画面部を時計方向に約 15°以上動かすことはできません。）
- 画面部を動かす場合は、液晶画面を手で押さないようにしてください。液晶画面の破損や故障の原因になります。
- ロックボタンを解除するときにロックボタンの動きが硬い場合は、いったん画面部を下方向に押してください。

リフティングターン（横型表示にする）

1 画面の角度を一番手前に調節する

安定した操作をおこなうために、画面の角度（チルト角度）を下方向約 5°に調節してください。

2 ロックボタンを解除する

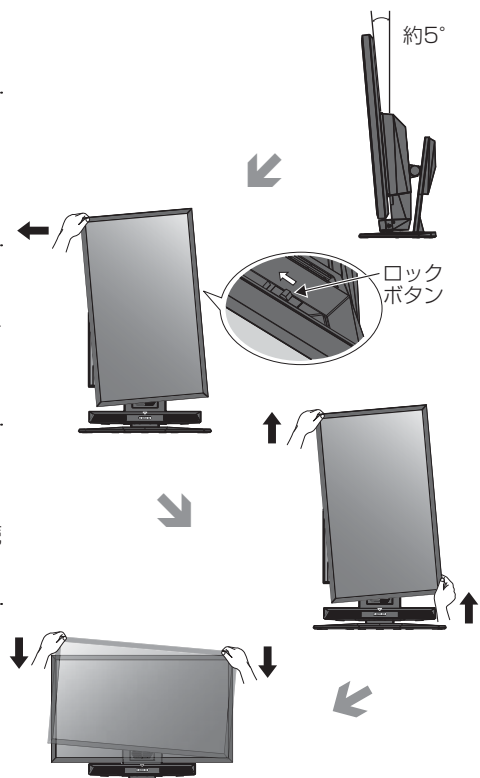
ロックボタンを⇦方向（前から見て左方向）に押し込んだ状態で、画面部を反時計方向に少し動かしてロックを解除してください。
画面部が少し傾いた状態で、ロックは解除されます。

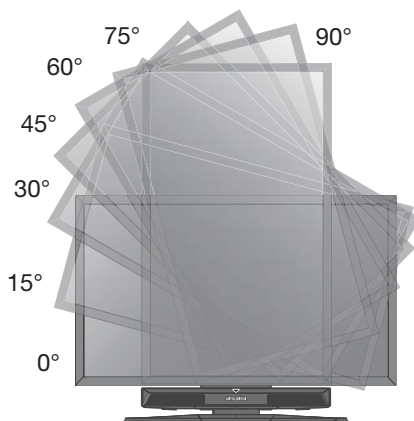
3 画面部を反時計方向に動かす

安全上、ロック解除直後にいったん停止する機構です。
停止した位置で画面部を更に↑方向に持ち上げながら動かすと、操作は継続できます。

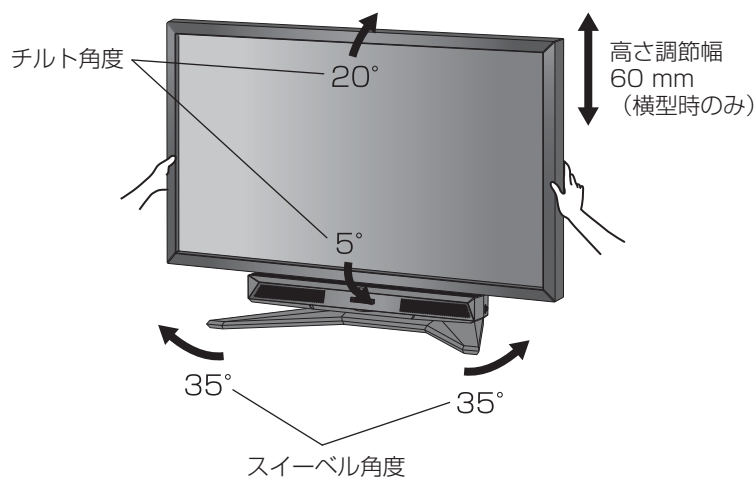
4 画面部をロックする

画面部が水平近くになったら、画面部の左右上側をロックボタンが「カチッ」と音がするまで押してください。

[準備 10] 縦型表示にする／横型表示にする（つづき） [必要に応じて]

⚠注意

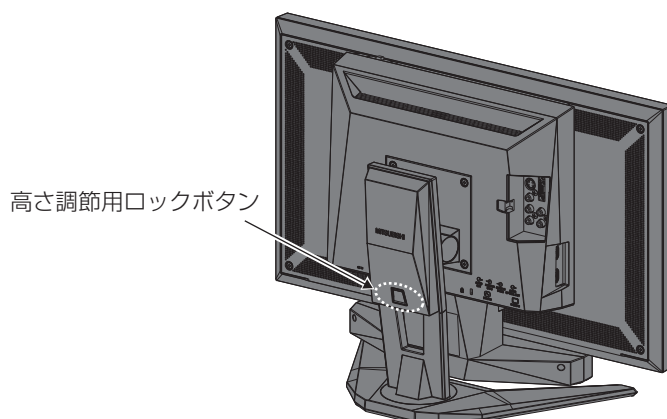
- 本機の画面部を縦型→横型に動かす場合は、絶対に途中で手を離さないでください。画面部が自然に動き、画面部とスピーカー部の間に手を挟んで、けがの原因になります。
- 縦型表示では、画面の高さを調節できない機構になっています。無理に動かすと、リフティングターン機構および高さ調節機構の破損や故障の原因になります。
- 画面部を動かす場合は、液晶画面を手で押さないようにしてください。液晶画面の破損や故障の原因になります。
- ロックボタンを解除するときにロックボタンの動きが硬い場合は、いったん画面部を下方向に押してください。

[準備 11] 画面の高さおよび角度を調節する [必要に応じて]

高さおよび角度を調節する

お好みに合わせて本機の画面の高さおよび角度を調節してください。
右図のように両手で動かして、見やすい高さおよび角度に調節します。
画面の高さは、横型時のみ調節が可能です。
画面の高さが一番低い位置にある場合は、スタンドの高さ調節用ロックボタンを押してロックを解除してから、上方向に調節してください。また、画面の高さを一番低い位置に調節する場合は、高さ調節用ロックボタンが「カチッ」と音がなるまで、画面を下方向に押してください。

⚠注意

高さおよび角度調節時に、手を挟まないように気を付けてください。けがの原因となることがあります。
高さおよび角度調節時に、液晶画面を押さないようにしてください。破損してけがや故障の原因になります。

液晶画面を押さないようにしてください。

[準備 12] 画面調節

1 本機およびコンピューターの電源を入れる

2 画面の調節をおこなう

■ **デジタル接続の場合**

自動判別によって画面情報を設定しますので、画面の調節は不要です。

■ **アナログ接続の場合**

「自動調節をする（D-SUB 入力のとき）」→ P25 の手順にしたがって画面を調節してください。
自動調節をおこなってもうまく表示されない場合は「サイズ位置」メニュー（OSD 機能）→ P34 をご覧ください。

テストパターン

付属のユーティリティーディスクには、テストパターンが入っています。
このテストパターンはアナログ接続した場合の画面調節をするときに使用します。
ご使用方法については、ユーティリティーディスクの README をご覧ください。

「サイズ位置」メニューの「水平位置」または「垂直位置」の項目で調節をおこない、白い枠が完全に見えるようにする。→ P34

「サイズ位置」メニューの「水平サイズ」または「位相」の項目で調節をおこない、白黒の縦じまがはっきりと見えるようにする。→ P34

「映像モード」メニューの「コントラスト」で調節をおこない、白の階調差が見えるようにする。→ P33

テストパターン表示画面

お知らせ

テストパターンは、64bit 版 OS に対応しておりません。
< 対応 OS>
Windows® 95/98/Me/2000、Windows® XP(32bit 版)、Windows Vista® (32bit 版)、Windows® 7(32bit 版)

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

自動調節をする（D-SUB 入力のとき）

本機をコンピューターとアナログ接続の方法で接続したときは、最初に自動調節をおこないます。その後、さらに調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。→ P31 ～ P43
自動調節はコントラストの自動調節と表示位置、水平サイズや位相の自動調節の 2 つに分かれています。
2 つともおこなってください。

お知らせ

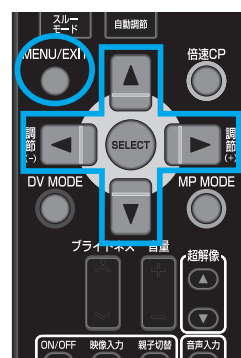
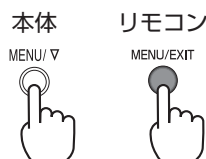
- 自動調節は適切な画面を表示するよう、画面のコントラスト、表示位置、水平サイズや位相を自動で調節します。デジタル接続では自動調節は不要です。
- OSD 画面を表示する方法など、操作のしかたの詳細については、「OSD の基本操作」→ P29 をごらんください。

1 本機およびコンピューターの電源を入れる

2 本体の「INPUT ／ EXIT」ボタンまたはリモコンの映像入力「D-SUB」ボタンを押して、映像入力を（D-SUB）に切替える

3 画面全体に付属のユーティリティーディスクのテストパターン → P24 またはワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示する

4 本体の「MENU ／▽」ボタンまたはリモコンの「MENU ／ EXIT」ボタンを押して、OSD 画面を表示する

本体

リモコン

5 コントラストの自動調節をおこなう（オートコントラスト）

① 本体の「MENU ／▽」ボタンまたはリモコンの「▼」ボタンを押して、「映像モード」の「オートコントラスト」を選ぶ。

② 本体の「▷」ボタンまたはリモコンの「▶」ボタンを押して、「YES」を選ぶ。

③ 本体の「MENU ／▽」ボタンまたはリモコンの「SELECT」ボタンを押して、オートコントラストを実行する。

入力された信号レベルに合わせて、コントラストの自動調節を開始します。
（実行中・・・）の表示が消えたらコントラストの自動調節は完了です。
手順 6 に進みます。

6 表示位置、水平サイズ、位相の自動調節をおこなう（自動調節）

① コントラストの自動調節が完了した状態で、
本体の「MENU ／▽」ボタンまたはリモコンの「MENU ／ EXIT」ボタンを押して、グループアイコンへ戻る。

② 本体の「▷」ボタンまたはリモコンの「▶」ボタンを押して、グループメニューの「サイズ位置」を選ぶ。

③ 本体の「MENU ／▽」ボタンまたはリモコンの「▼」ボタンを押して、「自動調節」を選ぶ。

④ 本体の「▷」ボタンまたはリモコンの「▶」ボタンを押して、「YES」を選ぶ。

⑤ 本体の「MENU ／▽」ボタンまたはリモコンの「SELECT」ボタンを押して、自動調節を実行する。

入力された信号に合わせて、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。

「実行中・・・」の表示が消えたら調節は完了です。

これですべての自動調節が完了しました。

7 本体の「INPUT ／ EXIT」ボタンまたはリモコンの「MENU ／ EXIT」ボタンを 2 回押して、OSD 画面を消す

お 願 い

- DOS プロンプトのように文字表示のみの場合や画面いっぱいに画像が表示されていない場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。 → P34
- 白い部分が極端に少ない画像の場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。
- コンピューターやビデオカード、解像度によっては、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。

[準備 13] Windows® セットアップ情報 [必要に応じて]

Windows® 95/98/Me/2000/XP/7、Windows Vista® 用の「画面の設定」でご利用いただくためのファイル情報は、下記の当社ホームページからダウンロードしてください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/download

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

[準備 14] 省エネ設定をする [必要に応じて]

ECO 設定の変更

1
① 本体の「MENU ／▽」ボタンまたはリモコンの「MENU ／ EXIT」ボタンを押して、OSD 画面を表示する。

② 本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、グループメニューの「ツール」を選択する。
③ 本体の「MENU ／▽」ボタンまたはリモコンの「▼」ボタンを押して、「ECO PROF.」を選択する。
④ 本体の「▷」ボタンまたはリモコンの「SELECT」ボタンを押して、「ECO PROF.」の詳細ページに移動する。

⑤ 本体の「MENU ／▽」ボタンまたはリモコンの「▼」ボタンを押して、「ECO 設定」を選択する。
⑥ 本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、「オフ」「小」「中」「大」→ P41 の中から、お好みの設定を選ぶ。

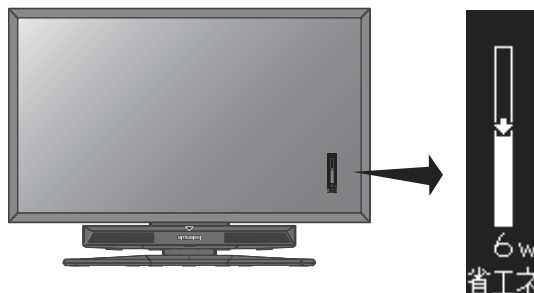
お知らせ
● OSD の操作方法は、OSD の基本操作 → P29 を参照ください。

ECO メーターの表示

2
常に省エネ状態を確認できる「ECO メーター」を表示したい場合、ECO PROF. 詳細ページ画面で
① 本体の「MENU ／▽」ボタンまたはリモコンの「▼」ボタンを押して、「ECO メーター表示」を選択する。
② 本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、「オン」を選択する。
③ 本体の「MENU ／▽」ボタンまたはリモコンの「▼」ボタンを押して、「ECO メーターシースルー」を選択する。
④ 本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、お好みの透過率に設定する。

ECO メーターは現在の省エネ電力値をリアルタイムに表示します。
表示値：消費電力へ影響する「ブライトネス」「CRO」「ECO 設定」により値が変わります。

⑤ 本体の「INPUT ／ EXIT」ボタンまたはリモコンの「MENU ／ EXIT」ボタンを 3 回押し、OSD 画面を消す。

OSD 画面を消した後に、画面の右下に ECO メーターが設定した透過率で表示されます。
「ECO メーター」を表示したくない場合は、「オフ」を選択するか透過率を「0」にすると消えます。

省エネ電力量値はゼロリセットすることができます。
「省エネ電力量リセット」を選択して、「オン」に設定すると積算された「省エネ電力量」「省エネ率」「CO_2 削減量」がゼロに戻ります。

お知らせ
● 上図の ECO メーターは表示の（例）です。省エネ状態によってメーターのバーの高さと省エネ数値 (W) は変化します。

機能

本機には画面の調節が簡単にできる OSD（On Screen Display）機能がついています。
OSD 機能により画面上に表示されるメニューを操作し、明るさなどの画面調節や、その他の設定をおこないます。

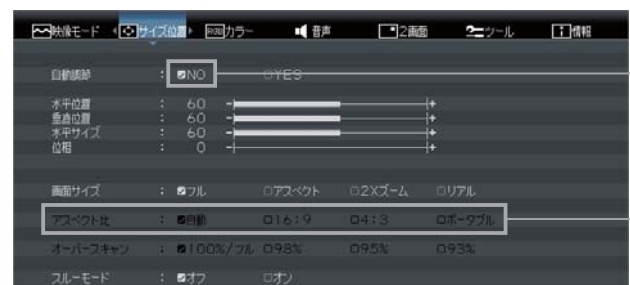
OSD 画面の構成

OSD 画面は、以下に示すような構成になっています。

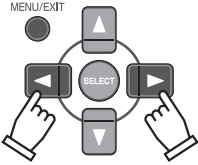
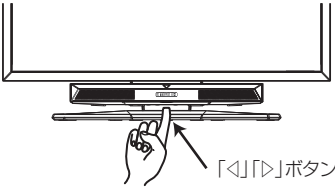
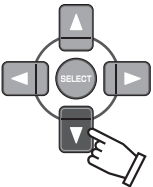
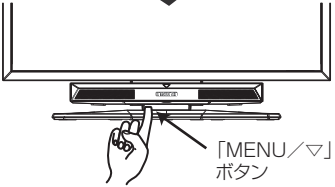
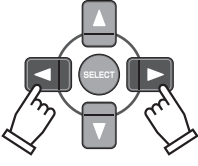
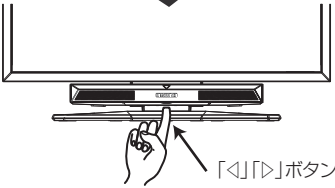
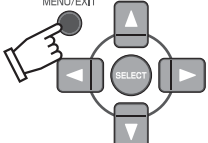
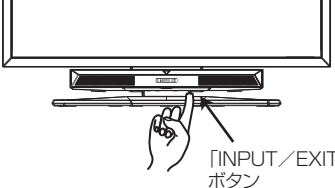
グループアイコン
選択されているグループアイコンは青く表示されます。

選択項目
選択項目が青い背景で表示されます。その他の項目を選択する方法を示す△▽◁▷が青い背景で表示された選択項目の上下左右に表示されます。

調節項目
調節できる項目は黄色で表示されます。調節や選択する方法を示す◁▷が両端に表示されます。
実行が必要な場合は、本体の「MENU ／▽」ボタンまたはリモコンの「SELECT」ボタンを押します。

スキップアイコン
スキップ設定をした DV MODE にこのアイコンが表示されます。リモコンで DV MODE を切替える際、このアイコンが表示された DV MODE はスキップされます。

チェックアイコン
チェックが入っている調節項目が選択されています。

黒色文字
映像入力または入力信号による使用制限のため使用できない場合、黒色文字になります。

灰色文字
他の調節項目による使用制限のため使用できない場合、灰色文字になります。

ツリーアイコン
調節項目に対してさらに詳細設定があることを示します。このとき本体の「▷」ボタンまたはリモコンの「SELECT」ボタンを押すと、詳細画面に移動します。

案内
次のページや制限、特別操作などがあるときは案内が表示されます。

OSD の基本操作

リモコンの「MENU／EXIT」ボタンまたは本体の「MENU／▽」ボタンを押して、OSD画面を表示します。

リモコン操作	本体操作	OSD 画面
MENU/EXIT SELECT 「◀」「▶」ボタンで、調節する項目のグループアイコンを選択する	「◁」「▷」ボタン 下側よりボタンを操作する 「◁」「▷」ボタンで、調節する項目のグループアイコンを選択する	選択したグループアイコンが青色になる
SELECT 「▼」ボタンで、調節する項目を選択する	「MENU／▽」ボタン 下側よりボタンを操作する 「MENU／▽」ボタンで、調節する項目を選択する	選択した項目が青色になる
SELECT 「◀」「▶」ボタンで、調節バーによる調節をする、もしくは選択メニューではお好みのモードに「チェックマーク」を入れる	「◁」「▷」ボタン 下側よりボタンを操作する 「◁」「▷」ボタンで、調節バーによる調節をする、もしくは選択メニューではお好みのモードに「チェックマーク」を入れる	選択した調節項目の背景が黄色になったり、調節量表示サイドバーが増減する
MENU/EXIT SELECT 「MENU／EXIT」ボタンで、グループアイコン選択OSD画面に戻す	「INPUT／EXIT」ボタン 下側よりボタンを操作する 「INPUT／EXIT」ボタンで、グループアイコン選択OSD画面に戻す	グループアイコン選択OSD画面になる

もう一度、リモコンの「MENU／EXIT」ボタンまたは本体の「MENU／▽」ボタンを押すと、OSD画面が消えます。

グループの構成

各グループの構成は以下のようになっています。選択項目の詳細については次ページ以降に記載しています。
映像入力または入力信号による使用制限のため使用できない場合、黒色文字になります。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

お知らせ

● 本機は一般的なコンピューターと「デジタル接続」した場合は、自動的に適切な画面を表示します。「アナログ接続」でも自動調節により適切な画面を表示します。 → P25
ただし、コンピューターによっては画面にちらつきや、にじみが生じることがあります。また、入力信号によっては正しく表示できないこともあります。その場合はOSD機能を使用して画面の調節 → P31～P43 をおこなってください。この場合、調節後の画面情報が記憶されます。

OSD 機能一覧

映像モード

DV MODE 1 の例

DV MODE 2 の例

■ DV MODE（Dynamic Visual MODE）

DV MODE（画像表示モード）をお好みに応じて切替えます。

スタンダード：標準の設定です。
フォト：写真に適した設定です。
sRGB：色再現国際規格 sRGB に対応した色で表現します。
ネット：インターネットのストリーミング動画に適した設定です。
ゲーム１：中間調にメリハリをつけ、より迫力のある画像を提供する解像度の高いゲームに適した設定です。
ゲーム２：解像度の低いゲームに適した設定です。ゲーム１より中間調にメリハリをつけ、超解像効果も高めに設定されてます。
テレビ：テレビ番組の視聴に適した設定です。
シネマ：暗いシーンの多い映画の鑑賞に適した設定です。

お知らせ

DV MODE とは、ゲーム、ネット、映画、写真など、表示する内容に合わせた画質を設定・選択できるスタンダード、フォト、sRGB、ネット、テレビ、シネマ、ゲーム１、ゲーム２の８つのモードの総称です。
DV MODE ごとに「残像感クリア」「解像度判別」「超解像レベル」「ブロック N/R」「エリアコントラスト」「肌色検出」「シャープネス」「3 次元 N/R」「ブライトネス」「D コントラスト」「CRO」「黒白伸張」「色のこさ」「色あい」をお好みに調節でき、また、調節した値を保存できます。

■ DV MODE スキップ設定

使用しない DV MODE をスキップ設定することで、リモコンでの DV MODE 切替の際、選択したい DV MODE を容易に選択できるようになります。

<スキップ設定のしかた>

① フロントボタンまたはリモコンを用いて、OSD 画面でスキップ設定したい DV MODE を選択します。
② スキップ設定したい DV MODE にカーソルが表示されている状態で、リモコンの「SELECT」ボタンを押します。
③ 選択した DV MODE にスキップアイコンが表示され、スキップ設定が有効になります。

<スキップ設定の解除のしかた>

① フロントボタンまたはリモコンを用いて、OSD 画面でスキップ設定を解除したい DV MODE を選択します。
② スキップ設定を解除したい DV MODE にカーソルが表示されている状態で、リモコンの「SELECT」ボタンを押します。
③ 選択した DV MODE のスキップアイコンが消え、スキップ設定が解除されます。

■ 残像感クリア

ゲームや動画などを楽しむ場合に、動きの速い映像でも、ぼやけ感をおさえてブレの少ないくっきりとした動画を再現します。MP MODE と倍速クリアピクチャーをコンテンツに応じて切替えます。

■ MP MODE（Motion Picture MODE）

倍速駆動とバックライト制御を組み合わせる技術により、動きの速い映像でも、くっきりと再現します。

オフ：MP MODE は、はたらきません。
レベル１：LED バックライトスキャンニングが機能します。
レベル２：LED バックライトスキャンニングに加え、倍速補間が機能します。
レベル３：LED バックライトブリンキングが機能します。

ぼやけ感の改善効果は、次のようになります。動画の動きの速さに応じて選択してください。
（効果大）レベル３ ＞ レベル２ ＞ レベル１（効果小）
また、レベル１とレベル３は、表示遅延が気になるゲームに適したモードです。

お知らせ

- DV MODE で「フォト」、「sRGB」が選択されているときは、MP MODE の切替はできません。（この場合は、「オフ」になります。）
- MP MODE を「レベル１」～「レベル３」に設定した場合は、画面がちらついて見えることがあります。
- MP MODE を「レベル１」～「レベル３」に設定した場合は、画面の明るさが次のように暗くなります。
  （明）オフ ＞ レベル１ ＝ レベル２ ＞ レベル３（暗）
- 静止画でのご使用の場合は、「オフ」の設定をおすすめします。

● OSD画面が表示されていない状態で「MP MODE」ボタンを押すごとに「オフ」→「レベル1」→「レベル2」→「レベル3」→「オフ」･･･の順に、直接MP MODEを切替えることができます。

■ 倍速クリアピクチャー

60コマ／秒で映し出される映像の間に、動きを予測した新たな映像を補間し、120コマ／秒の映像を映し出す倍速補間技術により、なめらかで自然な動きを再現します。

オフ：倍速クリアピクチャーは、機能しません。
弱　：倍速補間が機能します。
強　：倍速補間に加え、LEDバックライトスキャンニングが機能します。

お知らせ

● 静止画でのご使用の場合は「オフ」の設定をおすすめします。
● 倍速クリアピクチャーを「弱」または「強」に設定した場合は、表示遅延が発生します。
● スルーモードと倍速クリアピクチャーの併用はできません。「スルーモード」を「オン」に設定すると「倍速クリアピクチャー」は「オフ」になります。
● 倍速クリアピクチャーは映像によっては効果が低いことがあります。画像が乱れる場合は「オフ」にしてください。
● 倍速クリアピクチャーを「強」に設定した場合は、画面がちらついて見えることがあります。
● 倍速クリアピクチャーを「強」に設定した場合は、画面の明るさが次のように暗くなります。
（明）オフ ＝ 弱 ＞ 強（暗）

■ シネマモード

フィルム映像（24コマ）の表示モードをお好みにより選択できます。

オフ　：シネマモードがオフになります。
フィルム：フィルム映像の動きを忠実に再現します。（映像を補間しません。）
なめらか：フィルム映像の動きをなめらかに表示します。（24コマ間の映像を予測補間します。）

お知らせ

● シネマモードは、映像によっては効果が低いことがあります。画像が乱れる場合は「オフ」にしてください。

■ 解像度判別

入力される映像の解像度に応じて、超解像レベル、ブロックN/R、エリアコントラスト、肌色検出の効果を適用できます。

オート：自動で入力映像の解像度を判別し、判別した解像度に応じた効果を適用します。
HD　：高解像度の映像に適した効果を適用します。
SD　：中解像度の映像に適した効果を適用します。
LD　：ストリーム動画コンテンツなど、低解像度の映像に適した効果を適用します。

■ 超解像レベル

静止画／自然画および動画コンテンツをより解像度感を高めた画像に変換、美しい映像をご覧いただけます。
調節バー（0～100）が表示されます。10ステップの10レベルが調節可能です。本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、画面をお好みに応じて調節してください。

お知らせ

● 超解像技術の効果は入力画像の種類や解像度によって異なります。
コンテンツによってはノイズやちらつきが発生する場合があります。
● 肌色検出の設定によって、効果を適用する範囲が変わります。
肌色検出がオフのとき：
画面全体に同じレベルの超解像効果が適用されます。
画面全体に同じレベルの超解像効果を適用したい場合には、肌色検出をオフに設定してください。
肌色検出がオンのとき：
肌色の部分に対しての超解像効果が弱くなります。人肌のしわなどは強調せず、それ以外の映像部分に対してのみ超解像効果を適用したい場合には、肌色検出をオンに設定してください。

■ ブロックN/R（ブロックノイズリダクション）

MPEG2方式などで圧縮された動画コンテンツや、JPEG方式などで圧縮された静止画コンテンツを再生視聴する際に見える四角いブロックノイズを低減します。

お知らせ

● 効果を強くかけすぎると、全体がぼやけた映像になります。
● 解像度判別の設定によって、効果の程度が変化します。
HD ＜ SD ＜ LD の順に効果が強くなります（ブロックノイズが低減します。）
● 肌色検出の設定によって、効果を適用する範囲が変わります。
肌色検出がオフのとき：
画面全体にブロックN/Rの効果が適用されます。
画面全体のブロックノイズを除去したい場合には、肌色検出をオフに設定してください。
肌色検出がオンのとき：
肌色と検出された映像部分にのみブロックN/Rの効果が適用されます。肌色部分だけを滑らかにし、それ以外の映像はくっきりと表示したい場合には、肌色検出をオンに設定してください。

■ エリアコントラスト

明るい部分と暗い部分が混在している場合でも、明るい部分、暗い部分、それぞれの部分に対してコントラスト感を改善することができます。
Dコントラスト（→P33）と併用することで、全体のコントラスト感を上げながら、映像の細部もしっかり表現することができます。
動作例：

【画面全体が明るい映像の場合】
Dコントラストだけでは、明るい部分のコントラスト感は向上しますが、暗い部分の映像の鮮明さが弱くなります。
エリアコントラストを動作させることにより、暗い部分のコントラスト感を改善します。

【画面全体が暗い映像の場合】
Dコントラストだけでは、暗い部分のコントラスト感は向上しますが、明るい部分の映像の鮮明さが弱くなります。
エリアコントラストを動作させることにより、明るい部分のコントラスト感を改善します。

お知らせ

● 解像度判別の設定によって、効果の程度が変化します。
（効果大）LD ＞ SD ＞ HD（効果小）
● 肌色検出の設定とは連動していません。

■ 肌色検出

映像中の肌色部分を検出し、「超解像レベル」「ブロック N/R」の効果の適用範囲を変えます。

お知らせ

● 検出された肌色部分に対する効果のかかり方は、「超解像レベル」「ブロック N/R」で異なります。
肌色検出がオンのとき、「超解像レベル」は肌色部分に対して効果が弱くなります。肌色以外の部分に対しては、肌色検出がオフのときと同じ「超解像レベル」効果が適用されます。
肌色検出がオンのとき、「ブロック N/R」は肌色以外の部分に対して効果が弱くなります。肌色部分に対しては、肌色検出がオフのときと同じ「ブロック N/R」効果が適用されます。

【超解像レベル】

肌色検出がオフのとき：
画面全体に超解像効果が適用されます。

肌色検出がオンのとき：
肌色の部分に対しての超解像効果が弱くなります。人肌のしわなどは強調せず、それ以外の映像部分に対してのみ超解像効果を適用することができます。

【ブロック N/R】

肌色検出がオフのとき：
画面全体にブロック N/R が適用されます。ブロックノイズ除去を目的として使用される場合は、肌色検出をオフに設定してください。
※肌色検出をオンにすると、肌色以外の領域に対するブロックノイズ除去の効果がなくなります。

肌色検出がオンのとき：
肌色の部分に対してのみノイズリダクション効果が適用され、肌色以外の領域にはノイズリダクション効果が適用されなくなります。人肌がなめらかに表現され、それ以外の映像部分はくっきりと表現されます。

■ シャープネス

調節バー（0 ～ 100）が表示されます。本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、文字や画像のキレをお好みに応じて調節してください。

■ 3 次元 N/R（3 次元ノイズリダクション）

映像の細かいざらつき（モスキートノイズ）を低減します。

オフ：3 次元 N/R の機能をオフにします。
弱　：3 次元 N/R の効果を弱くかけます。
強　：3 次元 N/R の効果を強くかけます。

お知らせ

● 3 次元 N/R をかけると、細部がぼやける傾向があります。

■ ブライトネス

調節バー（0 ～ 100）が表示されます。本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、画面をお好みの明るさに調節してください。

お知らせ

● MP MODE で「レベル 3」に設定しているときは、ブライトネスの調節はできません。

■ D コントラスト（ダイナミックコントラスト）

コントラスト感を改善して、鮮明な映像にします。

お知らせ

● DV MODE で「フォト」「sRGB」を選択しているときは、D コントラストが使用できません。

■ CRO

CRO（コントラストレシオオプティマイザー）機能をオン／オフします。
映像の明るさに応じて、バックライトの輝度をリアルタイムに制御します。
画面全体が暗い場合でも、深みのある黒を映し出します。

お知らせ

DV MODE で「フォト」「sRGB」を選択しているときは、CRO が使用できません。

■ 黒白伸張

入力映像に対して、黒白伸張をおこなうかどうかを選択します。

オン：ゲーム機器や DVD プレーヤーの映像を視聴する場合に選択してください。黒白伸張されます。
オフ：コンピューターの映像を視聴する場合に選択してください。黒白伸張はおこないません。

お知らせ

● 映像が黒浮きしているような場合は、「オン」を選択してください。
● 映像の黒領域、白領域の階調がつぶれているような場合は、「オフ」を選択してください。
● DV MODE で「フォト」「sRGB」を選択しているときは、黒白伸張が使用できません。

■ 色のこさ

お好みに応じて画面の色のこさを調節できます。
値を大きくすると、色がこくなります。

お知らせ

● DV MODE で「sRGB」を選択しているときは、色のこさが使用できません。

■ 色あい

お好みに応じて画面の色あいを調節できます。
値を大きくすると、肌色が緑がかります。値を小さくすると、肌色が紫がかります。

お知らせ

● DV MODE で「sRGB」を選択しているときは、色あいが使用できません。

■ オートコントラスト

* D-SUB 入力の場合のみ有効です。
コントラストを自動調節します。
自動調節の詳しい手順については「自動調節をする」→ P25 をごらんください。

■ コントラスト

調節バー（0 ～ 100）が表示されます。本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、画面をお好みのコントラストに調節してください。

■ ブラックレベル

黒レベルを手動調節します。画面の暗い部分に注目して調節をおこなってください。

■ リセット

現在選択している DV MODE ページの選択項目のすべてを工場出荷設定に戻します。

サイズ位置

■ 自動調節

* D-SUB 入力の場合のみ有効です。
左右、上下方向の表示位置、水平サイズや位相を自動調節します。
自動調節の詳しい手順については「自動調節をする」 → P25 をごらんください。

■ 水平位置

調節バー（0 ～ 100）が表示されます。本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、左右方向の表示位置を調節してください。

お知らせ

入力が「DVI-D」のときは、使用できません。
入力が「HDMI1」「HDMI2」「D 端子」「ビデオ端子」のときは、オーバースキャン動作時（100%フル以外）に使用できます。

■ 垂直位置

調節バー（0 ～ 100）が表示されます。本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、上下方向の表示位置を調節してください。
入力が「DVI-D」のときは、使用できません。
入力が「HDMI1」「HDMI2」「D 端子」「ビデオ端子」のときは、オーバースキャン動作時（100%フル以外）に使用できます。

■ 水平サイズ

* D-SUB 入力の場合のみ有効です。
画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズが合っていないときに調節します。
調節バー（0 ～ 100）が表示されます。本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、水平サイズを調節してください。

■ 位相

* D-SUB 入力の場合のみ有効です。
画面に横方向のノイズが表示されたり、文字のにじみ、輪郭のぼやけが起こった場合に調節します。
調節バー（0 ～ 100）が表示されます。本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、位相を調節してください。

■ 画面サイズ

自動的に表示画面を拡大する機能です。入力信号の解像度が表示画素数より低い場合に機能します。
オーバースキャン動作時は、選択された画面サイズに対してオーバースキャン表示をします。

フル：入力映像信号を画面全体に拡大します。
アスペクト比（縦横比率）が 16：9 以外の信号が入力された場合、アスペクト比が変わります。

アスペクト：入力映像信号のアスペクト比を保持したまま、できるだけ画面いっぱいに映像信号を拡大します。
このため、入力される映像信号によっては、表示画面の縦または横方向に黒帯ができます。

2x ズーム：入力映像信号の解像度を縦横 2 倍に拡大表示します。
縦横 2 倍拡大できない映像信号が入力された場合は、「リアル」と同じ動作となります。

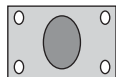
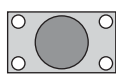
リアル：入力映像信号の解像度のままで表示します。
（画面は拡大されません。）

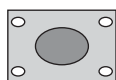
もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

■ アスペクト比

HDMI1 ／ HDMI2 ／ D 端子／ビデオ端子入力で、D1 ／ D2 の映像信号が入力されたときのみ有効です。
「アスペクト」「2x ズーム」「リアル」でアスペクト比が保持されていないときに調節します。「自動」を手動設定で「4：3」「16：9」に切替えてください。

自動　：NTSC4：3 と NTSC スクイーズの映像信号を自動で真円になるように調節します。

16：9　：画面を垂直方向に 0.84 倍、縮小します。NTSC スクイーズの映像信号が真円になります。その他の映像信号では円が縦につぶれます。

NTSCスクイーズの映像信号　→　NTSCスクイーズの映像信号を16：9で調節した画面

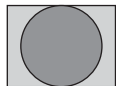
4：3　：画面を垂直方向に 1.125 倍、拡大します。NTSC4：3 の映像信号が真円になります。その他の映像信号では円が横につぶれます。

NTSC4：3の映像信号　→　NTSC4：3の映像信号を4：3で調節した画面

ポータブル：D 端子とビデオ端子入力の場合のみ有効です。携帯用ゲーム機器から出力された 720 × 480 の映像信号が、自動的にフルスクリーンでディスプレイに表示されます。

■ オーバースキャン

オーバースキャン率を設定します。
AV 信号を表示する場合、映像によっては画面の周囲にノイズが見えることがあります。「オーバースキャン」の設定を変更することで、画面の外周部をカットし、ノイズを隠すことができます。

100% ／フル：

入力された映像をそのまま表示します。
画面サイズ → P34 で選択されたサイズに対してフル表示します。
入力される映像によっては、画面の外周部にノイズが見えることがあります。

NTSC4：3の映像信号をオートで調節した画面

98%：

入力された映像の周囲をカットし、元映像の 98% を表示します。
「100% ／フル」の設定で画面の外周部にノイズが見える場合は、「98%」を選択してください。
画面サイズ → P34 で選択されたサイズに対して周囲をカットし、98% 表示します。

98%で調節された画面のイメージ

95%：

98% と同じように 95% で表示します。

93%：

98% と同じように 93% で表示します。

お知らせ

- D-SUB/DVI-D/HDMI の PC タイミングではオーバースキャンは使用できません。
- 「オーバースキャン」を「100% ／フル」以外に設定すると、画面位置が調節できるようになります。
- 「スルーモード」を「オン」に設定すると、「オーバースキャン」は「100% ／フル」になります。

■ スルーモード

ディスプレイ内部の映像信号の遅延時間を短縮するモードです。映像と音声のズレが気になる場合にご使用ください。

お知らせ

- 「スルーモード」は、画像処理の機能を制限することで、遅延時間短縮を実現しています。
  このため、色調節など、いくつかの機能が使用できなくなります。
  また、映像の種類によっては、階調のなめらかさが損なわれるなど、画質が低下する場合があります。
- 「スルーモード」を使用しても、映像と音声が完全に同期しない場合があります。
- 静止画でのご使用の場合は、「スルーモード」をオフで使用することをおすすめします。
- 「スルーモード」をオンにすると子画面はオフされます。
- 「スルーモード」をオンにすると画面サイズは「アスペクト」になります。
- 「スルーモード」をオンにすると「倍速クリアピクチャー」は「オフ」の動作となります。
- 「スルーモード」をオンにすると「シネマモード」は「オフ」の動作となります。
- HDMI、D 端子、ビデオ端子入力のときは、「スルーモード」をオンにすると、オーバースキャンは FULL（100%）になります。
- 480i や 1080i の信号が入力されているときに「スルーモード」をオンにすると、コンテンツによってはちらつきが発生する場合があります。
- 入力される映像信号の垂直周波数 (リフレッシュレート）が 60 Hz 以外の場合、「スルーモード」をオンにすると画面が乱れる場合があります。→ P48

■ 解像度切替

* D-SUB 入力の場合のみ有効です。
「1024 × 768」、「1280 × 768」、「1280×1024」、「1360 × 768」、「1400 × 1050」、「1680×1050」の入力信号の解像度を、手動にて直接指定することができます。
上記の入力信号に対しては、解像度を正しく自動判別できない場合があります。
その場合、本機能にて直接解像度を指定することにより、指定の解像度で表示することができます。

お知らせ

- OSD 上に表示されている解像度以外の信号（例：640 × 480）が入力された場合、本機能は機能しません。

■ リセット

サイズ位置のページの選択項目のすべてを工場出荷設定に戻します。

カラー

■ 色温度

お好みに応じて画面の色温度を５つのモードから選択できます。

モードの種類

NATIVE　：液晶パネル本来の色温度で表示します。（調節できません）
1/10000K：色温度 10000K で表示します。
2/9300K　：色温度 9300K で表示します。
3/6500K　：色温度 6500K で表示します。
4/5000K　：色温度 5000K で表示します。

■ RED（赤色）、GREEN（緑色）、BLUE（青色）

それぞれの色を個別に調節することにより、色温度をお好みに調節できます。
調節すると色温度の表示が USER に変わります。ここでの調節はリセットで戻すことができます。

■ リセット

現在選択しているカラーモードのページの選択項目のすべてを工場出荷設定に戻します。

音声

■ 高音

本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、高音域の音量を調節します。

■ 低音

本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、低音域の音量を調節します。

■ バランス

本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、左右の音のバランスを調節します。◁方向に動かすと左の音声が大きくなり、▷方向に動かすと右の音声が大きくなります。

■ サラウンド

サラウンド機能をオン／オフします。
臨場感のある立体的な音響にする機能です。

■ クリアボイス

クリアボイス機能をオン／オフします。
ニュース番組などで、高音を強調して人の声をより聞きやすくする機能です。

■ おすすめ音量

おすすめ音量機能をオン／オフします。
映画や CM などの放送内容で異なる音量感を一定にして聞きやすくする機能です。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

■ 音声選択

表示中の映像に関係なく、他の入力の音声を選択できます。

親画面連動：
親画面の映像入力が切替わると、連動して音声入力も切替わります。

子画面連動：
子画面の映像入力が切替わると、連動して音声入力も切替わります。子画面が表示されていない場合は、親画面の音声入力に切替わります。

DVI-D、D-SUB、HDMI1、HDMI2、D 端子、ビデオ端子：
お好みの音声入力を選ぶことができます。また、映像入力を切替えても音声入力は切替わりません。

お知らせ

- 親画面または子画面入力が HDMI1 のときは、「HDMI2」を選択しても、HDMI2 の音声は出力されません。
- 親画面または子画面入力が HDMI2 のときは、「HDMI1」を選択しても、HDMI1 の音声は出力されません。
- HDMI の音声を選択したとき、すぐに音声が出力されない場合があります。

組み合わせ　（○：音声が出る組み合わせ　　×：音声が出ない組み合わせ）

音声選択＼表示画面	DVI-D	D-SUB	HDMI1	HDMI2	D 端子	ビデオ端子
親画面連動	○	○	○	○	○	○
子画面連動	○	○	○	○	○	○
DVI-D	○	○	○	○	○	○
D-SUB	○	○	○	○	○	○
HDMI1	○	○	○	×	○	○
HDMI2	○	○	×	○	○	○
D 端子	○	○	○	○	○	○
ビデオ端子	○	○	○	○	○	○

■ 音量

本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、音量を調節します。

お知らせ

- 本機は二重音声（二カ国語音声）には対応しておりません。

■ 消音

本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、消音機能をオン／オフします。
リモコンで消音オンにするとアイコンが約 3 秒表示され、消えます。
解除するには、消音オフにするか、リモコンの「消音」ボタン、または「音量」ボタンを押してください。

2 画面

■ 子画面選択

子画面に表示させたい映像入力を選択します。
オフを選択すると子画面は消えます。

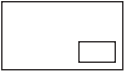
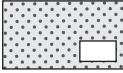
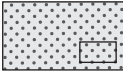
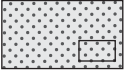
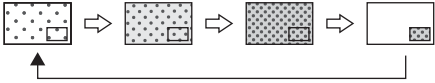
2 画面表示可能な、親画面と子画面の組み合わせ

親画面＼子画面	DVI-D	D-SUB	HDMI1	HDMI2	D 端子	ビデオ端子
DVI-D		○	○	○	○	○
D-SUB	○		○	○	×	○
HDMI1	○	○		×	○	○
HDMI2	○	○	×		○	○
D 端子	○	×	○	○		○
ビデオ端子	○	○	○	○	○	

お知らせ

- 子画面の音声を出力させたい場合は、OSD 機能の「音声」の「音声選択」→ P37 を「子画面連動」に設定してください。
- 映像信号の垂直周波数が 60 Hz 以外の場合、2 画面表示できない場合があります。
- 「サイズ位置」の「画面サイズ」「アスペクト比」「オーバースキャン」の設定によっては、2 画面表示できない場合があります。
- スルーモードがオンのときは、2 画面表示はできません。

■ 子画面サイズ

子画面の大きさを設定します。映像信号の種類によって、適切な縦横比で、子画面表示します。

サイズ＼映像信号	4：3	5：4	16：9
小	320 × 240	400 × 240	426 × 240
中	480 × 360	450 × 360	640 × 360
大	680 × 510	638 × 510	906 × 510

■ 子画面位置

右上、右下、左下、左上から選べます。

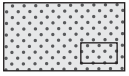
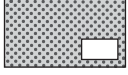
もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

■ 超解像モード

画面の状態		
子画面が表示されていないとき	リモコンの子画面用「超解像」ボタンは無効です。	

画面の状態	リモコンの子画面用「超解像」ボタンを押したとき → P12	リモコンの親画面用「超解像」ボタンを押したとき → P12 または OSD 画面の「映像モード」で「超解像レベル」を設定したとき → P40
子画面が表示されていて、親画面の「超解像」が「0（オフ）」のとき	子画面内の「超解像」がオン→オフ→オンのように切替わります。 オンのときの子画面内の超解像効果は、「レベル」で設定したレベルになります。	親画面の「超解像」を設定した時点では、子画面には「超解像」は適用されません。 上記の状態からリモコンの子画面用「超解像」ボタンを押すと、親画面で設定した「超解像」と同じ設定が子画面に適用されます。

画面の状態	リモコンの子画面用「超解像」ボタンを押したとき → P12	リモコンの親画面用「超解像」ボタンを押したとき → P12 または OSD 画面の「映像モード」で「超解像レベル」を設定したとき → P40
親画面と子画面の「超解像」がオンのとき （このとき子画面には、親画面の「超解像」と同じ設定が適用されています。）	子画面の「超解像」は、オフになります。さらに続けてリモコンの子画面用「超解像」ボタンを押すと、子画面には親画面で設定した「超解像」と同じ設定が適用されます。	リモコンの場合は、「10」→「20」→ … →「100」→「0（オフ）」の順で、OSD メニューの場合は、「10」⇔「20」⇔ … ⇔「100」の順で親画面の「超解像」の設定が切替わります。 このとき子画面は、親画面の「超解像」設定が「0（オフ）」のとき以外は、親画面の「超解像」と同じ設定が適用されます。 なお、親画面の「超解像」設定を「0（オフ）」にしたとき、子画面には親画面の「超解像」設定が「0（オフ）」になる直前の「超解像」の設定が保持されます。 リモコンで「超解像」を設定したとき OSD メニューで「超解像」を設定したとき

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

<table>
<tr><th>画面の状態</th><th>リモコンの子画面「親子切替」ボタンを押したとき → P12</th></tr>
<tr><td>親画面と子画面の「超解像」がオンのとき
（このとき子画面には、親画面の「超解像」と同じ設定が適用されています。）</td><td>親子切替をおこなうと、子画面と親画面が入替わって表示されます。
このとき親画面は、その映像入力において親画面用に設定した「超解像」の設定になります。
また、このとき子画面の「超解像」は、オフになります。
＜例＞
<table>
<tr><th></th><th>親画面</th><th>子画面</th></tr>
<tr><td>入力</td><td>D-SUB</td><td>DVI-D</td></tr>
<tr><td>超解像設定</td><td>30</td><td>親画面に追従（30）</td></tr>
</table>
親子切替
<table>
<tr><th></th><th>親画面</th><th>子画面</th></tr>
<tr><td>入力</td><td>DVI-D</td><td>D-SUB</td></tr>
<tr><td>超解像設定</td><td>50
＊DVI-D 入力に対する OSD メニューでの設定になります</td><td>オフ</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

お知らせ

● 親画面と子画面の「親子切替」は、本体の OSD 画面ではできません。リモコンの「親子切替」ボタンでのみ操作できます。

ツール

ツール画面

ECO PROF. 詳細ページ

■ ECO PROF.

ECO Professional 機能とは省エネに配慮した下記の機能の総称です。
本体の「▷」ボタンまたはリモコンの「SELECT」ボタンを押すと右上図のページに切替わり、下記の項目が調節できます。
ECO PROF. 詳細ページから戻るには、本体の「INPUT ／ EXIT」ボタンまたはリモコンの「MENU ／ EXIT」ボタンを押します。

◆ ECO 設定

「オフ」「小」「中」「大」モードの中から、お好みの省エネモードを設定します。

オフ：省エネモード設定を解除します。
小　：画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約 6 W（＊）削減します。
中　：画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約 15 W（＊）削減します。
大　：画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約 22 W（＊）削減します。

お知らせ

- 「オン」時には、画面の明るさが低減します。
- （＊）マーク説明：
  画面全体の平均輝度が 75%以上の状態において ECO 設定「オフ」にした状態との比較値です。
  （当社測定結果による）

◆ ECO メーター表示

現在の省エネ電力値をリアルタイムに表示します。

オフ：ECO メーターは表示しません。
オン：画面右下に ECO メーターを表示します。

お知らせ

- 省エネ電力値：ECO 設定の動作時や画面の明るさ（ブライトネス）を暗くしたときに得られる電力削減値です。

◆ ECO メーターシースルー

ECO メーターの表示透過率を調節します。
調節バー（0 ～ 100）が表示されます。本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、ECO メーターの表示透過率をお好みの状態に調節してください。

◆ 電源自動オフ

信号入力が無い場合の自動電源オフモードの設定をします。

オフ：自動電源オフしません。
オン：信号入力が無くなってから約 30 分後に電源オフします。

お知らせ

- 本機能動作後は、電源オフされているため、再度ご使用される場合は、電源ボタンを押して本機の電源をオンにしてください。

◆ オフタイマー

「15 分」「30 分」「60 分」「90 分」「120 分」の中から選択した時間を経過後に、自動的に電源をオフすることができます。

◆ 省エネ電力量リセット

「YES」を選択すると、ECO PROF. 詳細ページに表示している省エネ電力量と省エネ率表示値および CO_2 削減量がゼロにリセットされます。

お知らせ

- 省エネ電力量と省エネ率表示値は 5 年以上経過すると表示色が赤色になり積算が停止する場合があります。積算の上限に達していますのでリセットしてください。
- 工場出荷時に省エネ電力量と省エネ率表示値および CO_2 削減量がゼロでない場合があります。その場合は、リセットすることをおすすめします。

◆ **省エネ電力量（表示のみ）**

省エネ効果の確認用として、累積省エネ電力量と省エネ率および CO_2 削減量を OSD 画面上に表示します。

省エネ電力量：ご使用を始めて（またはリセットした時点）から現在までに得られた省エネ電力を積算した値とコンピューターで設定したパワーマネージメント機能にて得られた電力削減を積算した値の合算を「＊＊＊．＊＊ kWh」で表示します。なお、本機の電源スイッチオフの時間は含まれません。

省エネ率：省エネ電力量の削減効果を「＊ %」で表示します。表示される値が大きいほど、省エネ電力量の削減効果が大きいことを意味します。

CO_2 削減量：省エネ電力量を CO_2 削減量に換算した値を「＊＊ kg」で表示します。

● CO_2 削減量は、1 kWh=0.4 kg（「各国における発電部門の CO_2 排出原単位の推計報告書 -Ver.3 (2006.6Revised)-」(JEMA) より）を用いて算出。

■ 言語（LANGUAGE）

OSD 画面の表示言語を切替えます。
日本語と英語（English）が選択できます。

■ LED ブライトネス

調節バー（0 ～ 100）が表示されます。本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、電源ランプをお好みの明るさに調節してください。

■ PC 入力自動切替

信号が入力されているコネクターを自動的に選択する機能です。選択されているコネクターは OSD 画面「情報」の「入力信号」で確認できます。

オン：現在表示しているコネクターからの入力信号がなくなったとき、他のコネクターから信号を入力している場合は表示を自動的に切替えます。

オフ：入力信号の表示の自動切替をおこないません。

お知らせ

● PC 接続（DVI-D および D-SUB 接続）にのみ対応しています。
● 変換ケーブルや変換コネクターなどを使用して、HDMI1、HDMI2 端子に PC 信号を入力することが可能ですが、これらの入力に対して入力自動切替機能は機能しません。この場合は、本体の「INPUT ／ EXIT」ボタンまたはリモコンの「映像入力」ボタンを押して、入力を切替えてください。

■ DDC/CI

DDC/CI → P56 通信による各種操作を制限する機能です。
DDC/CI 通信をオン／オフします。

■ 液晶モード切替

液晶パネルはその性質上、特に静止画において、表示する映像によっては不要な色つきや尾引きが発生する場合があります。
本機には、この問題を解消するために、液晶モード切替機能が装備されています。
万が一、表示映像に不要な色つきや尾引きが発生した場合は、切替えてご使用ください。

タイプ A：尾引きが発生した場合に選択してください。
タイプ B：色つきが発生した場合に選択してください。

お知らせ

● 通常はタイプ A でご使用ください。

■ 操作ロック

誤って調節してしまうことを防ぐための OSD 画面操作禁止機能です。操作ロック中でもブライトネスと音量は調節可能です。ロックの設定／解除の操作は、リモコンではできません。以下の手順にしたがって、本体のボタンで操作してください。

ロックの設定

OSD 画面を表示し、「ツール」の「操作ロック」が選択されている状態で本体の「▷」ボタンを押しながら「INPUT ／ EXIT」ボタンを押すとロックが完了します。

ロックの解除

「操作ロック」の OSD を表示させ再び本体の「▷」ボタンを押しながら「INPUT ／ EXIT」ボタンを押すと操作ロックは解除されます

お知らせ

● ロック中でも、リモコン操作は可能です。
● ロック中は、本体ボタンでの入力切替、電源オン／オフ、「◁」「▷」ボタン（ホットキー）によるブライトネスと音量の調節ができる状態になります。

■ サイドカラー

画面サイズでアスペクト表示した場合の両端の画像のない部分の色を調節します。
R、G、B の中から色を選択し、それぞれの色を調節します。

■ OSD 水平位置

OSD 画面をお好みの位置に調節してください。

■ OSD 垂直位置

OSD 画面をお好みの位置に調節してください。

■ OSD 表示時間

メニュー

OSD 画面を表示させた後、OSD 画面が自動的に消える時間を設定する機能です。
10 秒から 120 秒まで、5 秒ごとの設定が可能です。

インフォメーション

案内画面、注意画面の表示時間を設定します。設定された時間になると、案内画面が自動的に消えます。
1 秒から 10 秒まで、1 秒ごとの設定が可能です。
「オフ」に設定すると、案内画面、注意画面は表示されなくなります。

■ オールリセット

「映像モード」、「サイズ位置」、「カラー」、「音声」、「2 画面」、「ツール」の各設定を工場出荷状態に戻します。

お知らせ

● ECO PROF. の省エネ電力量と省エネ率および CO_2 削減量はリセットされません。リセットしたい場合は、ECO PROF. の「省エネ電力量リセット」を実行してください。
● 言語切替はリセットされません。

情報

■ **モニター情報**

MODEL NAME（形名）と SERIAL No.（製造番号）が確認できます。

■ **入力信号**

現在表示している入力チャンネルと信号情報が確認できます。

お知らせ

● 製造番号は本機の背面に貼り付けてある定格ラベルでも確認できます。

■ **リフティングターンの使い方**

リフティングターンの使い方の説明を表示します。

工場プリセットタイミング（PC 信号）

本機は下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。ただし、コンピューターによっては画面にちらつきやにじみが生じることがあります。
また、入力信号によっては正しく表示できないこともあります。アナログ接続の場合は、自動調節 → P25 をおこなってください。

解像度	周波数		備考
	水平	垂直	
640 × 480	35.0 kHz	66.7 Hz	Macintosh
832 × 624	49.7 kHz	74.5 Hz	Macintosh
720 × 400	31.5 kHz	70.1 Hz	
640 × 480	31.5 kHz	60.0 Hz	
640 × 480	37.9 kHz	72.8 Hz	
640 × 480	37.5 kHz	75.0 Hz	
800 × 600	35.2 kHz	56.3 Hz	
800 × 600	37.9 kHz	60.3 Hz	
800 × 600	48.1 kHz	72.2 Hz	
800 × 600	46.9 kHz	75.0 Hz	
1024 × 768	48.4 kHz	60.0 Hz	
1024 × 768	56.5 kHz	70.1 Hz	
1024 × 768	60.0 kHz	75.0 Hz	
1152 × 864	67.5 kHz	75.0 Hz	
1152 × 870	68.7 kHz	75.0 Hz	Macintosh
1280 × 960	74.8 kHz	75.0 Hz	Macintosh
1280 × 1024	64.0 kHz	60.0 Hz	
1280 × 1024	80.0 kHz	75.0 Hz	
1680 × 1050	65.3 kHz	60.0 Hz	
1360 × 768	47.7 kHz	60.0 Hz	
1600 × 900	60.0 kHz	60.0 Hz	
1920 × 1080	66.6 kHz	59.9 Hz	（推奨タイミング：DVI-D、D-SUB）
1920 × 1080	33.7 kHz	59.9 Hz	1080i
1920 × 1080	67.5 kHz	59.9 Hz	1080p（推奨タイミング：HDMI）
1280 × 720	45.0 kHz	59.9 Hz	720p
720 × 480	31.5 kHz	59.9 Hz	480p

お知らせ

- 入力信号の識別は、水平周波数・垂直周波数・同期信号極性・同期信号タイプによりおこなっています。
- 上表に示す工場プリセットタイミング以外もタイミングを記憶できる機能があります（ユーザーメモリー機能）。
  記憶させたい信号を入力し、自動調節 → P25 するとタイミングおよび画面情報が自動的に記憶されます。
- 「オールリセット」を実行すると、すべてのユーザーメモリーに記憶された値が消去されます。
- 本機の周波数は水平周波数：31.5 ～ 82.3 kHz、垂直周波数 56 ～ 76 Hz 対応となっていますが、この範囲内であっても入力信号によっては正しく表示できない場合があります。
  この場合は、コンピューターの周波数、または解像度を変更してください。
- 本機はコンピューターからのデジタル入力において、推奨タイミングの解像度を超える信号を選択できる場合がありますが、その信号を入力した場合は、正しく表示できないことがあります。
- 複合同期信号、シンクオングリーン信号には対応していません。
- 本機は解像度 1920 × 1080 以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
- デジタル接続の場合は、工場プリセットタイミング信号のみを表示できます。

その他の機能について

ここでは、本機の OSD 機能以外の機能について説明しています。

拡大・スムージングファイン機能

1920 × 1080 より低い解像度の画面を自動的に拡大して表示する機能です。ギザギザ感の少ないなめらかな画像とカケの少ない文字を表示します。

お知らせ

● 入力信号によっては、画面全体に拡大されない場合があります。

簡易表示機能

本機が対応する解像度よりも高い解像度の信号が入力された場合に、自動的に画面を縮小表示する機能です。

お知らせ

● 本機は、AV 機器のタイミング（480i、480p、1080i、720p、1080p）の入力信号を表示することができます。

Plug&Play 機能

VESA の DDC（Display Data Channel）2B 規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に適切な画面が自動的に設定されます。
詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

ノータッチオートアジャスト機能（NTAA：No Touch Auto Adjust）（800×600 以上の解像度のみ）

ユーザーメモリーに記憶されていない種類の信号が入力されると自動調節が実行されます。
入力された信号を本機のマイコンが検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。自動調節中は「自動調節実行中」の文字が表示されます。

NTAA 実行中画面

お知らせ

● アナログ入力信号（D-SUB 入力）のみ有効です。

パワーマネージメント機能

コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

お知らせ

● この機能は VESA DPM 対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合にのみ機能します。

パワーマネージメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下のとおりです。

モード	消費電力	電源ランプ
通常動作時	79 W	点灯
スリープモード時	1 W 以下（AC100 V 時）	点滅（約 1 秒間隔）

水平または垂直同期信号がOFF状態になっているにもかかわらず、ビデオ信号（R, G, B）が出力されているようなコンピューターについては、パワーマネージメント機能が正常に作動しない場合があります。

お知らせ

● キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。
　画面が復帰しない場合は、信号ケーブルが外れているかコンピューターの電源が「切」になっていることが考えられますので、ご確認ください。

困ったとき

故障かな？と思ったら

表示されないときは…　**このようなときは、チェックしてください。**

症　状	状　態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点灯しない場合	電源スイッチが入っていない可能性がありますので、確認してください。	P10, 12
		電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P11, 21
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	－
		電源コードをコンピューターの本体のコンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れていない可能性があります。コンピューターの電源が入っているか確認してください。	－
		電源自動オフを設定していませんか？ その場合は、再度電源ボタンを押してください。	P41
	電源ランプが点灯している場合	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P29
		● OSD 画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P52
		● 正常な状態で OSD 画面が表示された場合は「映像モード」の「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してください。	P33
		● OSD 画面が正常に表示され､「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してもコンピューターの画面が表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P15, 16, 44
		HDCP 対応の機器を接続し画面が映らない場合は、接続機器の電源を入れ直してください。	－
	電源ランプが点滅している場合	パワーマネージメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。	P45
		信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P15～17
		変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P15, 16
		コンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。	－
		入力選択があっていない可能性があります。 本体の「INPUT ／ EXIT」ボタンまたはリモコンの「映像入力」ボタンを押して入力切替をおこなってください。	P10, 12
突然、画面が表示しなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合	信号ケーブルの接続が外れていませんか？ 本体に接続されているすべてのケーブルを抜いて差し直してください。	P15～19
		新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。 ※ 液晶ディスプレイに使用している LED バックライトには寿命があります。	P52

表示されないときは…

症　状	状　態	原因と対処	参照
突然、画面が表示しなくなった	電源ランプが点灯しない場合	オフタイマーが設定されている可能性があります。再度電源を入れてください。	P41
		電源自動オフ機能により電源が自動的にオフしていませんか？再度電源スイッチをオンして設定を確認してください。	P41
表示状態がおかしい	画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	−
	画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	−
	画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	−
	細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	−
	線の太さなどがぼやける	1920 × 1080 以外の解像度を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。PC の出力解像度を 1920 × 1080 に設定してください。 または、OSD 画面により「シャープネス」を調節すると軽減できる場合があります。 アナログ接続の場合は、「自動調節」を実行すると軽減できる場合があります。	P25, 33, 44
	表示エリア外の非表示部分に「残像」が生じる	表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	−
	画面を見る角度によって色がおかしい	視野角（画面を見る角度）によっては、色相の変化が大きくなります。本機の画面の角度を調節してください。	P23
	画面の表示状態が変わっていく	液晶パネルは LED バックライトを使用しているため、使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態が影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	−
	画面を切替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような「残像」という現象が起こることがあります。液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。 電源を切るか変化する画面を表示していれば、残像は徐々に薄れていきます。	−
	表示が横長に伸びている	1920 × 1080 以外の解像度を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。PC の出力解像度を 1920 × 1080 に設定してください。 または、OSD 画面により「画面サイズ」を「アスペクト」または「リアル」に設定してください。	P34, 44
	OSD 画面の表示色がおかしくなったり、線の太さが変わったりする	色あい、色のこさなどを調節したり、超解像モード、ダイナミックコントラストなどの機能をオンにすると OSD 画面表示状態に影響を与える場合があります。 映像処理の特性によるもので、故障ではありません。	−

表示されないときは…

症　状	状　態	原因と対処	参照
表示状態がおかしい	表示色がおかしい	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P29
		● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	−
		● 正常な状態でOSD画面が表示された場合は「カラー」の「色温度」を調節するか、「ツール」の「オールリセット」で工場出荷設定に戻してください。	P36, 42
		● OSD画面が正常に表示され、「カラー」の「色温度」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P15～19, 44
		● ケーブルの接続不良でも、発生する場合があります。接続状態を再確認してください。	P15～19
	画面がちらつく（分配器を使用している場合）	分配器を中継させず、コンピューターと直接接続してください。	P15～19
	画面がちらつく（上記以外の場合）	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P29
		● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	−
		● 正常な状態でOSD画面が表示された場合は「サイズ位置」の「位相」を選択し、調節してください。	P34
		● OSD画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P15～19, 44
		● 超解像オンの場合、コンテンツによってはノイズやちらつきが発生する場合があります。超解像レベルを変更してください。	P32, 39
		● 上下にちらつく場合は、コンピューターのリフレッシュレートを60 Hzに設定してください。	−
	画面中央に境界線が出て左右で画質が異なるまたは、画面上下で画質が異なる	工場調整画面になっている可能性があります。「ツール」の「オールリセット」で工場出荷設定に戻してください。	P42
	「スルーモード」をオンにすると画面が乱れる	「スルーモード」をオフするかコンピューターの出力信号の垂直周波数（リフレッシュレート）を60 Hzに設定してください。	P12, 35, 44

案内画面／注意画面が表示されたら…

症　状	状　態	原因と対処	参照
画面に「NO SIGNAL」が表示された！※1 VIDEO INPUT DVI-D NO SIGNAL	信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本機およびコンピューターのコネクターに正しく接続してください。	P15～19
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	－
	コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。	－
	コンピューターのパワーマネージメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P45
	HDCP対応の機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。	数秒程度お待ちください。	－
画面に「OUT OF RANGE」が表示された！※2 VIDEO INPUT DVI-D OUT OF RANGE	本機が対応していない信号が入力されている可能性があります。	本機に適切な信号が入力されているか確認してください。コンピューターの解像度またはリフレッシュレートを変更してください。	P43, 44
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	コンピューターの解像度を変更してください。	－

※1 コンピューターによっては、解像度やリフレッシュレートを変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。
※2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他

症　状	状　態	原因と対処	参照
解像度や色数が変更できない／固定されてしまう	正しく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。	－
	Windows® をご使用の場合は、Windows® セットアップ情報のインストールが必要な可能性があります。	Windows® セットアップ情報を当社ホームページからダウンロードし、コンピューターにインストールしてください。	P26
	Windows® セットアップ情報をインストールしても設定の変更が不可能な場合、または Windows® 以外の OS をご使用の場合は、グラフィックボードのドライバーが OS に正しく認識されていない可能性があります。	グラフィックボードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書をご参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。	－
スピーカーから音が出ない	オーディオケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。	正しく接続されているか確認してください。	P17, 20
	ヘッドホンが接続されている場合、スピーカーからは音は出ません。	ヘッドホンを外してください。	P20
	音量が最小になっている、または消音機能がオンになっている可能性があります。	リモコンで音量を調節するか、消音設定を解除してください。または、OSD画面の「音声」の「音量」で音量を調節するか、「消音」を「オフ」にしてください。	P12, 37
	「音声」の「音声選択」で表示入力と違う入力が選ばれている可能性があります。	「音声」の「音声選択」を確認してください。	P37
	オーディオケーブルが本機の音声出力端子に接続されている場合、スピーカーからは音は出ません。	本機の音声出力端子に接続されているオーディオケーブルを外してください。	P11

その他

症　状	状　態	原因と対処	参照
AV 機器の映像が何も映らない！ または、画面に「NO SIGNAL」が表示された	一部の AV 機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。	数秒（5 ～ 30 秒）お待ちください。 数秒待っても画面が表示されない場合は、下記の操作をおこなってください。 ● 本機の電源スイッチを切り、電源を入れ直してください。 ● 電源コードを含むすべてのケーブルを抜き、接続し直してください。 ● AV 機器側の電源を切り、電源を入れ直してください。	P18
		入力選択があっていない可能性があります。 本体の「INPUT ／ EXIT」ボタンまたはリモコンの「映像入力」ボタンを押して映像入力を切替えてください。	P10, 12
音声出力を接続した AV アンプまたはアンプ内蔵スピーカーから音声が出力されない	オーディオケーブルが本機、AV アンプまたはアンプ内蔵スピーカーに正しく接続されていない可能性があります。	ケーブルが正しく接続されているか確認してください。機器側の接続方法については、ご使用になる機器の取扱説明書もあわせてご参照ください。	P20
	接続機器側の電源が入っていない可能性があります。	接続機器の電源を入れてください。 また、ご使用になる機器の取扱説明書もあわせてご参照ください。	−
	接続機器側の音声入力選択があっていないない可能性があります。	接続機器の入力選択をご確認ください。 また、ご使用になる機器の取扱説明書もあわせてご参照ください。	−
リモコンで操作できない、またはリモコンが効きにくい	リモコンの乾電池が消耗している可能性があります。	新しい乾電池と交換してください。	P13
	リモコンの赤外線が届かない場所で操作している可能性があります。	画面に近づくか、より真正面に近い角度から操作してください。	P13
	リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できない場合があります。	障害物を取り除いてください。	P13
	リモコン送信部または本機の受光部が汚れている可能性があります。	汚れを拭き取ってください。	−
	リモコンの乾電池の⊖⊕が逆に入っている可能性があります。	乾電池の向きを確認してください。	P13
	操作ロックされていませんか。	ロックを解除してください。	P42

本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

当社は環境保護に強く関わっていきます。環境に対する影響を最小限にするために、リサイクルシステムを会社の最重要課題の一つとして考えております。また、環境に優しい製品の開発と常に最新の ISO や TCO の標準に従って行動するよう努力しています。当社の使用済みディスプレイのリサイクルシステムの詳細については当社ホームページをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment

なお、資源有効利用促進法に基づく当社の使用済みディスプレイのリサイクルのお問い合わせは下記へお願いします。

情報機器リサイクルセンター	
家庭系（個人ユーザー様）の窓口	事業系（法人ユーザー様）の窓口
フリーダイヤル 0120-345-989 www.pc-eco.jp	TEL 0467-46-5716 www.diarcs.com
受付時間　土・日・祝日を除く　午前 9:00 〜午後 5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

ディスプレイの回収・リサイクル

資源有効利用促進法に基づき、家庭から出される使用済みディスプレイの回収・リサイクルをおこなう“PC リサイクル”が 2003 年 10 月より開始されました。当社ではこれを受け、回収・リサイクル体制を構築し、2003 年 10 月 1 日より受付しております。2003 年 10 月以降購入されたディスプレイのうち、銘板に“PC リサイクル”が表示されている製品は、ご家庭からの排出時、当社所定の手続きにより新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。

保証とアフターサービス

● この製品には保証書を添付しています。
保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日から 3 年間です。
● 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
● この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。
日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

お客様相談窓口（携帯電話・PHS 通話可／ IP 電話不可）	**修理相談窓口**（携帯電話・PHS 通話可／ IP 電話不可）
フリーダイヤル 0120-71-3322	フリーダイヤル 0120-08-1460
受付時間　土・日・祝日を除く　午前 9:00 ～ 12:00　午後 1:00 ～ 5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

アフターサービスを依頼される場合は、次の内容をご連絡ください。
- **お名前**
- **ご住所（付近の目標など）**
- **電話番号**
- **品名：三菱液晶ディスプレイ**
- **形名：MDT231WG**
- **製造番号（本機背面のラベルに記載）**
- **故障の症状、状況など（できるだけ詳しく）**
- **使用状況**
（PC およびグラフィックボード（メーカー、形名）、解像度、入力信号（アナログ、デジタル）など）
- **購入年月日または使用年数**

● 無料出張サービス規定
この製品をお買い上げから 1 年間は「修理相談窓口」にてディスプレイに起因する障害で修理が必要と判断された場合、無料出張サービスを適用します。その際、同梱の保証書の提示をお願いします。提示がない場合は、保証期間中でも有料となります。出張サービスは、日本国内のみ対応します。代替セット（現品とは異なる場合があります。）を無料でお貸しし、現品の持ち帰り修理になります。一部の地域で宅配業者の引き取りサービスになる場合があります。

個人情報の取り扱い

● お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
1. お問い合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問い合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
② 法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

付録

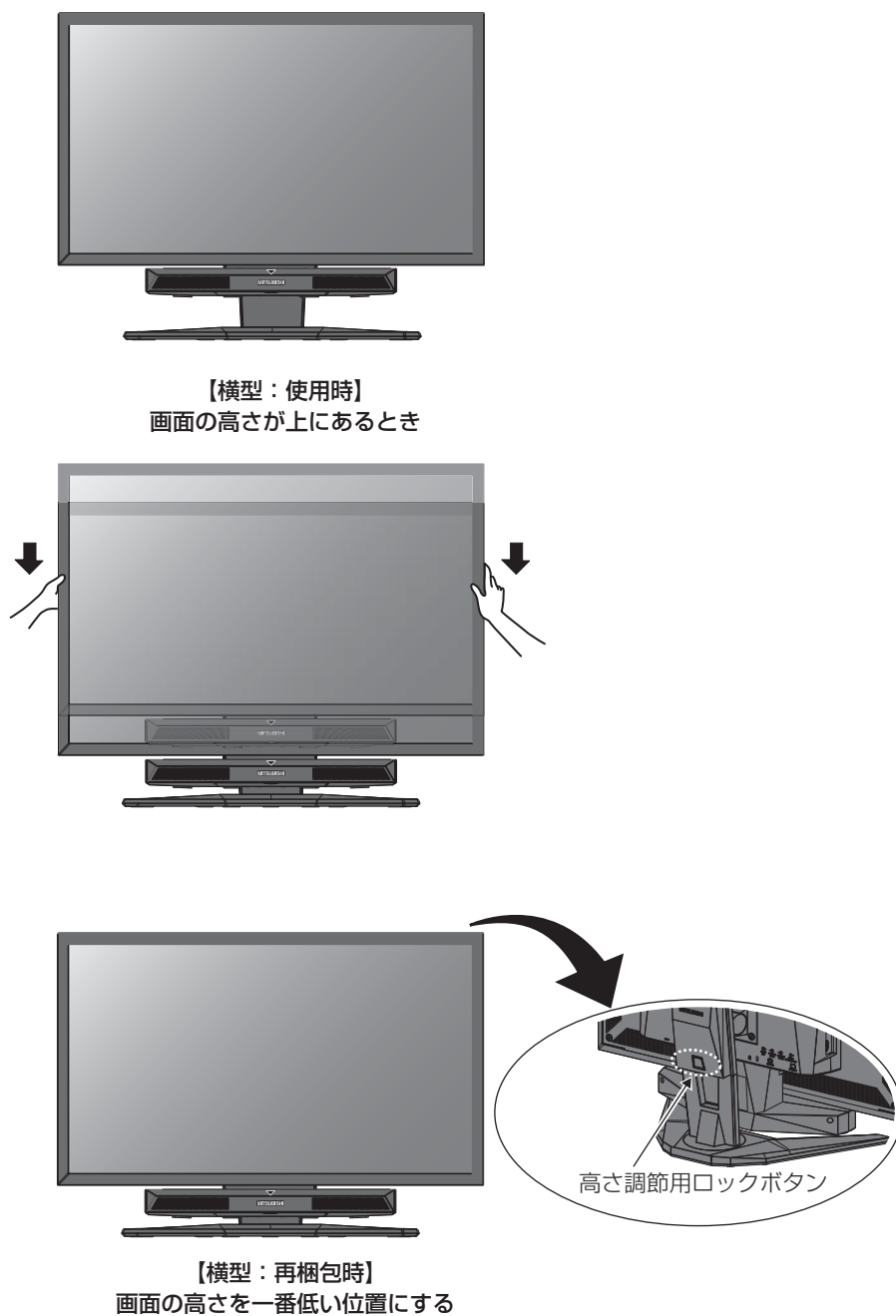
再梱包するとき

再梱包の際は、横型状態で本機の画面の高さを一番低い位置に調節してください。

お 願 い

- 画面の高さを一番低い位置に調節した際に、高さ調節用ロックボタンがロックされていることを確認してください。

【横型：使用時】
画面の高さが上にあるとき

【横型：再梱包時】
画面の高さを一番低い位置にする

市販のアームを取り付けるとき

本機には VESA 規格に準拠した（100 mm ピッチ）市販のアームを取り付けることができます。

お 願 い

- アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。（本機のディスプレイ部の質量は約 8.5 kg です。）

お知らせ

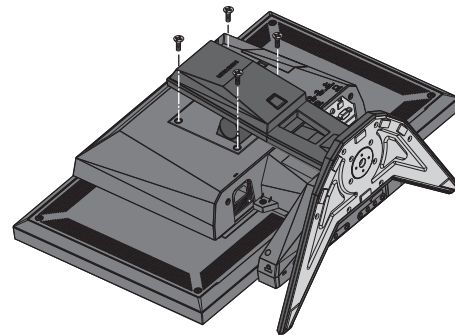
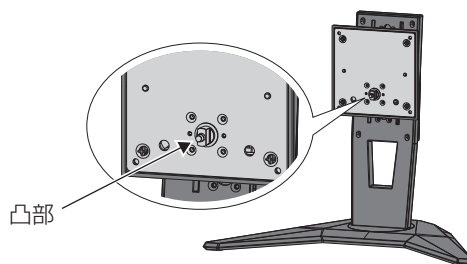
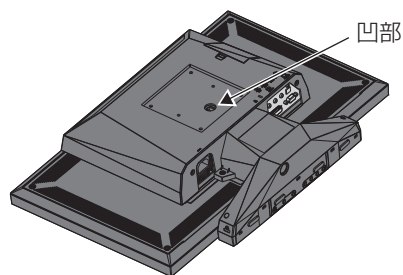
- 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。

■アームを取り付ける際は、下記要領で取り付けてください。

1 **本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから、信号ケーブル、電源ケーブルを取り外してください。**
なお、縦型でご使用の場合は横型に戻してください。

2 **スタンドの 4 本の化粧用ネジを取り外してから、スタンドを取り外してください。**

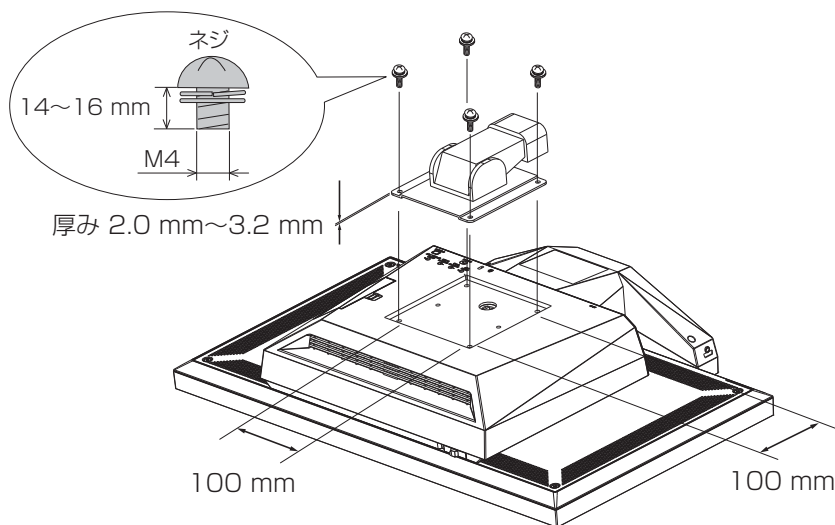
お 願 い

- 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを傷付けないように下向きに置いておこなってください。
- スタンドを取り付ける場合は、逆の手順でおこないます。
  その際は必ずスタンドの取り付けに使用していたネジを使ってください。
  仕様の異なるネジを使用されると、本機が故障する原因になる恐れがあります。
  また、スタンドの凸部が縦長になっていることを確認し、その凸部を、バックカバーの凹部に合わせて、スタンドを取り付けてください。
- ネジを締め付ける際は付け忘れに注意し、すべてのネジをしっかりと締め付けてください。
  なお、スタンドの取り付けはお客様の責任においておこなうものとし、万一事故が発生した場合、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

【スタンドの取り外し】

【スタンドの取り付け】

市販のアームを取り付けるとき（つづき）

3 右記のようにアームを取り付けてください。

取付可能アーム：
　取付部厚み　2.0 mm ～ 3.2 mm
　VESA 規格準拠　100 mm ピッチ

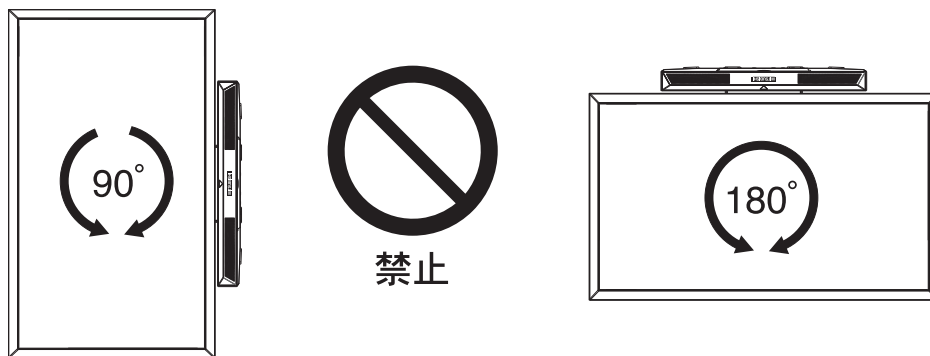
ネジゆるみ防止のため、すべてのネジをしっかりと締めてください。
（ただし、締め付けすぎるとネジがこわれることがあります。98 ～ 137 N･cm が適切な締付トルクです。）

※ 上記アームの取付部形状は参考例です。

⚠注意

落下防止のために

- **液晶ディスプレイを倒したまま固定できないときは、2 人以上で取り付け作業をおこなってください。**
  落下してけがの原因となります。
- **取り付け作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。**
  また、地震などでの製品の落下によるけがなどの危害を軽減するために、設置場所などは必ずアームメーカーへご相談願います。
  万一、地震などで落下の恐れがある場所での就寝はしないでください。
- **アームの取り付けはお客様の責任においておこなってください。**
  万一事故が発生した場合でも、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

火災や感電防止のために

- アームを取り付ける際は、必ず下記に示すネジを使ってください。
  それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障したり火災や感電の原因になる恐れがあります。
  緩み止めスプリングワッシャ付き M4 ネジ（長さ 14 ～ 16 mm）
- アームを取り付けてご使用される場合でも、90° 回転や 180° 回転した状態でご使用しないでください。
  内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

用語解説

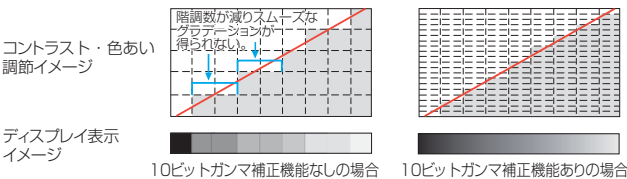
ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

3 次元 N/R（3 次元ノイズリダクション） P33
映像の細かいざらつき（モスキートノイズ）を低減します。

10 ビットガンマ機能 P3
RGB 各色 256 階調の映像信号に、10 ビットの多階調化されたルックアップテーブルを活用。
より高精度なコントラスト・色あい補正をおこなうことができます。きめ細かくなめらかな階調表現が得られるとともに、色の分解能が向上し、色補正に欠かせないガンマ補正を高精度におこなうことができます。

コントラスト・色あい調節イメージ

ディスプレイ表示イメージ

10ビットガンマ補正機能なしの場合　10ビットガンマ補正機能ありの場合

CRO (Contrast Ratio Optimizer) P33
映像の明るさに応じて、バックライトの輝度をリアルタイムに制御します。画面全体が暗い場合でも、深みのある黒を映し出します。

DDC 2B 規格 (Display Data Channel) P45
VESA が提唱する、ディスプレイとコンピューターとの双方向通信によってコンピューターからディスプレイの各種調節機能を制御する規格です。

DDC/CI 規格 P42
(Display Data Channel Command Interface)
ディスプレイとコンピューターの間で、設定情報などを双方向でやり取りできる国際規格です。

DPM (Display Power Management) P45
VESA が提唱する、ディスプレイの省エネルギー化に関する規格です。DPM では、ディスプレイの消費電力状態をコンピューターからの信号により制御します。

DV MODE (Dynamic Visual MODE) P12、31
表示する内容に合わせて適切な画面を選べる機能です。

DVI-A 端子 (Digital Visual Interface-Analog) P16
アナログ入力のみに対応している DVI 端子です。

DVI-D 端子 (Digital Visual Interface-Digital) P15、16
デジタル入力のみに対応している DVI 端子です。

DVI-I 端子 (Digital Visual Interface-Integrated)
P15、16
デジタル入力とアナログ入力の両方に対応している DVI 端子です。接続するケーブルあるいは変換アダプターによって入力の使い分けが可能となります。

D コントラスト (Dynamic Contrast) P33
映画に多い暗がりのシーンでは細部の描写がつぶれがちになります。それを防ぐために、黒階調をバランスよく自動調節で強調し、階調再現性を向上させる技術です。

D 端子 P11、19
DVD レコーダー／プレーヤーなどと接続ができる業界で統一された映像端子です。コンポーネント映像信号と映像フォーマットやアスペクト比などの識別信号を 1 本のケーブルで接続できます。本機には D5 映像端子が搭載されており、D1 から D5 までの映像フォーマットに対応しています。

分類名	映像フォーマット	走査線数	有効走査線数	走査方式
D1 (525i)	480i	525 本	480 本	インターレース
D2 (525p)	480p	525 本	480 本	プログレッシブ
D3 (1125i)	1080i	1125 本	1080 本	インターレース
D4 (750p)	720p	750 本	720 本	プログレッシブ
D5 (1125p)	1080p	1125 本	1080 本	プログレッシブ

GTG（Gray to Gray） P58
表示画面を変化させたときに、画面が切替わる早さ（追従性）を応答速度といい、数値が小さいほど、高速応答となります。白→黒→白または黒→白→黒の階調変化に要する時間の合計で表す場合が一般的ですが、動画表示には中間階調での変化に要する時間が短いことが要求されてきました。これを応答速度（GTG）と表します。

HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection System) P58
デジタル映像信号を暗号化する著作権保護システムです。HDCP に対応した AV 機器を接続することにより、HDCP で保護された映像コンテンツを視聴することができます。

HDMI (High-Definition Multimedia Interface)
P15、16、18
DVD レコーダー／プレーヤーなどと接続できる AV 用のデジタルインターフェイスです。コンポーネント映像信号と音声信号、制御信号を 1 本のケーブルで接続できます。

LED ブライトネス P42
電源ランプの輝度を調節する機能です。

Plug&Play P45
Windows® で提唱されている規格です。ディスプレイをはじめとした各周辺機器をコンピューターに接続するだけで設定をせずにそのまま使えるようにした規格のことです。

sRGB 規格 P31、33
IEC(International Electrotechnical Commission) により規定された色再現国際規格です。sRGB 対応のディスプレイなら、ネットワーク上でどのディスプレイでも色調を揃えることができる規格で、対応プリンター、スキャナー、デジタルカメラなどとの色合わせもしやすくなります。

VESA 規格 (Video Electronics Standards Association)
P45
ビデオとマルチメディアに関連する標準の確立を目的として提唱された規格です。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

用語解説（つづき）

位相 P34
アナログ映像信号のA/D変換用サンプリングクロックの位相調節機能です。これを調節することにより、文字のにじみや横方向のノイズをなくしたりすることができます。

インターレース P56
1つの画面（フレーム）を1ラインおきに走査して表示する方式です。テレビのような動きのある画面を表示するときはこの方式を使用できますが、静止画を表示するには画面のちらつきが目立ち不向きです。そのため、コンピューターのディスプレイでは、ほとんどのものがプログレッシブ方式を採用し、静止画のちらつきを抑えています。

オーバースキャン P35
ディスプレイの表示画面において、入力有効画像の外周部を表示画面からはみ出した状態にすることです。（はみ出した部分は、画面には表示されません。）
通常のテレビは、オーバースキャンの状態で調節されています。

輝度 P58
単位面積あたりの明るさのことで、数値が大きいほど表示画面が明るくなります。

コントラスト比 P58
白と黒の明るさの比率を示す指標のことで、輝度が同じであれば、数値が大きくなるほど画面にメリハリが出ます。

コンポーネント映像信号 (YPbPr 信号) P19
映像信号を輝度信号（Y）と、色系統信号（赤系（Pr）/青系（Pb））に分けて送り、受け側の表示機器で画面に映すときに合成して映像にします。輝度信号と色系統信号が分けて送られるため、従来のアナログテレビ放送などで発生しやすい、不要な色付きや色にじみなどの画質の悪化を抑えることができます。

サイドカラー P42
アスペクト表示した場合の両端の画像のない部分の色を調節する機能です。

サラウンド P36
聴覚の特性（いわゆる錯覚）を利用してステレオ環境だけでも多チャンネルの音に囲まれるような音響効果を再現する技術です。

残像 P47
残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

視野角 P47、58
斜めから見た場合など、規定のコントラスト比が得られる角度のことで、数値が大きいほど広い範囲から画像を見ることができます。

水平周波数／垂直周波数 P44、58
水平周波数：1秒間に表示される走査線の数のことで、水平周波数31.5 kHzの場合、1秒間に走査線を31,500回表示するということです。
垂直周波数：1秒間に画面を何回書替えているかを表します。垂直周波数が、60 Hzの場合、1秒間に画面を60回書替えているということです。

超解像 P12、32、39
独自の画像処理アルゴリズムに基づき表示映像に含まれるぼやけ成分を推定し補正を加えることにより、従来のシャープネス回路では再現できなかったフォーカス感やディテール感を再現します。

チルト角度 P23、58
ディスプレイ画面を上向きや下向きに動かせる角度のことです。

ノータッチオートアジャスト／ NTAA (No Touch Auto Adjust) P45
コンピューターから新しい信号を受信するたびに自動的に画面を適切な状態にする機能です。

パワーマネージメント機能 P45
コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を低減するために組み込まれた機能です。コンピューターが一定時間使用されていない（一定時間以上キー入力がないなど）場合に、電力消費を低下させます。再度コンピューターが操作されたときには、通常の状態に戻ります。

表示画素数／解像度 P44、58
一般的には「解像度」と呼ばれています。1画面あたりの横方向と縦方向の画素の数を表します。表示画素数が大きいほど多くの情報量を表示することができます。

プログレッシブ P56
1つの画面（フレーム）を1回の走査で表示する方式です。上から順に走査し全画素を表示していく方式で、順次走査方式とも呼ばれます。インターレース方式に比べ、画面のちらつき感の少ない、きれいな映像を見ることができます。ノンインターレースとも呼ばれます。

ブロックN/R（ブロックノイズリダクション） P32
MPEG2方式などで圧縮された動画コンテンツや、JPEG方式などで圧縮された静止画コンテンツを再生視聴する際に見える四角いブロックノイズを低減します。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

仕様

項目			仕様
形名			MDT231WG
外形寸法（mm）			543 / 511 / 289 / 361 / 387～447 / 380 / 42 106 / 226
液晶パネル	サイズ（表示サイズ）		23 型（58.4 cm）
	液晶方式		IPS、ノングレア（反射防止）
	有効表示領域		509.2 × 286.4 mm
	表示画素数		1920 × 1080
	画素ピッチ		0.265 mm
	表示色		約 1677 万色（約 10 億 6433 万色中）
	視野角		左右　178°、上下　178°（コントラスト比 10）
	輝度（標準値）		350 cd/m^2
	コントラスト比		5000：1（CRO 非動作時 900：1）
	応答速度		5 ms（GTG）＊1
	バックライト		白色 LED
PC 入力	水平周波数		31.5 ～ 82.3 kHz
	垂直周波数		56 ～ 76 Hz
	ビデオ信号		デジタル RGB、アナログ RGB
	同期信号		デジタル入力：TMDS アナログ入力：セパレート同期信号（TTL）
	信号入力コネクター		デジタル入力：DVI-D（HDCP 対応＊3）、HDMI（2 系統） アナログ入力：ミニ D-SUB15 ピン
ビデオ入力＊2	解像度		480i、480p、1080i、720p、1080p
	信号入力コネクター （HDMI は PC 入力コネクターと共用）		デジタル入力：HDMI（2 系統） アナログ入力：D5 端子、S 端子、コンポジットビデオ端子
音声入出力	入力コネクター		φ 3.5 mm ステレオミニジャック（2 系統）、RCA ピンジャック (L/R)（2 系統）
	スピーカー		3 W ＋ 3 W（ステレオ）、5 W（サブウーハー）
	音声出力		φ 3.5 mm ステレオミニジャック
	光デジタル音声出力		S/PDIF × 1、（2ch、HDMI 入力時）
	ヘッドホン		φ 3.5 mm ステレオミニジャック
適合規格等	安全		電気用品安全法、S-TÜV
	不要輻射		VCCI-B、低周波電磁界ガイドライン、家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン
	エルゴノミクス		ISO13406-2（準拠）
	プラグ＆プレイ		VESA DDC2B
	その他		PC グリーンラベル（★★☆ 2010 年度版）、J-Moss グリーンマーク、DDC/CI、Windows® 7
使用環境条件	温度		5 ～ 35℃
	湿度		30 ～ 80%（結露の無いこと）
電源	電源入力		AC 100 - 240 V、50/60 Hz
	消費電力	標準	79 W
		省エネモード	スリープモード時　：1 W 以下（AC100 V 時） オフモード時　　　：1 W 以下（AC100 V 時）
	電源入力コネクター		3P　IEC タイプ
質量	ディスプレイ本体	スタンド含む	約 11.0 kg
		スタンドなし	約 8.5 kg
キャビネット色			ブラック
梱包状態（質量／寸法）			約 13.5 kg ／ 619 (W) × 480 (H) ×283 (D) mm
チルト角度／スイーベル角度／高さ調節／縦型表示			上 20°、下 5°／ 70°／約 60 mm（横型時のみ）／時計方向 90°

お知らせ

- 本仕様は予告無く変更される場合があります。
- 本機は、解像度 1920 × 1080 以外の信号を入力した場合、信号によって文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
- 本機の有効ドットの割合は、99.9995%以上です。
- 付属の電源コードは、国内 100 V 商用電源対応品です。
- 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。

＊1　特定階調レベル間（例：31, 63, 95, 127, 159, 191, 223）の各応答速度の平均値です。
＊2　安定した表示ができない場合や非表示領域に不要な線が見える場合があります。
＊3　Macintosh での HDCP 対応は非サポートです。

さくいん